

令和7年度第1回 小松市地域公共交通活性化協議会

日 時 令和7年7月17日（木）

14:00～16:00

場 所 團十郎芸術劇場うらら2階会議室

会 議 次 第

1. 開会挨拶

会長 宮橋 勝栄

2. 報告事項

（1）地域交通計画専門部会からの報告

「地域公共交通計画をどう作るか、そのために本協議会をどう活用するか」

名古屋大学 加藤教授

（2）小松市地域公共交通活性化協議会について

（3）令和6年度事業報告について

（4）令和6年度収支決算について

（5）小松市における公共交通の現状について

（6）自動運転バスの取組状況について

（7）小松市ライドシェアの運行状況について

（8）乗降カウントセンサーの設置及びバスロケーションシステムの導入について

3. 議事

（1）令和7年度事業計画（案）について

（2）令和7年度収支予算（案）について

（3）小松市地域公共交通計画のアップデートについて

（4）南部地区乗合ライドシェアの実証実験について

4. その他

小松市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

(敬称略・順不同)

区 分	団体・役職名	氏 名	備考
住民又は 利用者の代表	小松商工会議所 空港・都市政策委員会委員長	今出 真稔	
	小松市町内会連合会副会長	北川 潔	監事
	小松市老人クラブ連合会副会長	藤田 享一	
	小松市校下女性協議会会長	久保 由味子	
	加賀地区高等学校校長会	久保出 将司	
	小松市障害者自立支援協議会事務局	森田 敏裕	
国及び県の関係行政機関 の職員	国土交通省北陸信越運輸局 交通企画課長	大村 進太郎	
	国土交通省北陸信越運輸局 石川運輸支局 首席運輸企画専門官	小林 豊	
	石川県企画振興部新幹線・ 交通対策監室 交通政策課課長補佐	石黒 裕介	
	石川県南加賀土木総合事務所 維持管理課長	林 崇	
	石川県小松警察署 交通課長	紙尾 智彦	
旅客自動車運送事業者及 びその関係団体の職員	北鉄加賀バス株式会社 取締役社長	新谷 良二	
	北鉄白山バス株式会社代表取締役社長	谷口 透	
	日本海観光バス(株)総務部長	西出 揮一郎	
	小松地区タクシー協会会長	道端 隆一	
旅客自動車運送事業者の 事業用自動車の運転者が 組織する団体	北陸鉄道労働組合北鉄加賀バス 小松職場委員	植村 猛	
市職員	小松市市長	宮橋 勝栄	会長
	小松市都市創造部長	浜井 宏	監事
	小松市健康福祉部長	池上 裕子	
	小松市教育委員会事務局長	長谷川 巖	
市長が必要と 認める者	公立小松大学大学院 サステイナブルシステム科学研究科 教授	高山 純一	副会長
	名古屋大学大学院環境学研究科 教授	加藤 博和	計画部会長、福祉 交通部会長
	公立小松大学 国際文化交流学部 教授	中子 富貴子	
	西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社 交通企画室長	鹿野 剛史	
	IRいしかわ鉄道株式会社 総務企画部長	杉藤 信之	
	日野自動車株式会社 ソリューション事業部 グループ長	柴田 義之	
	石川県レンタカー協会 常務理事	久保山 馨	
	(一社)こまつ観光物産ネットワーク 事務局長	山本 ゆかり	

任期:令和6年7月1日～令和8年6月30日

小松市地域公共交通活性化協議会について

1 設置の目的

地域における需要に応じた住民の生活に必要な旅客運送確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため「道路運送法」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、小松市地域交通活性化協議会を設置。

2. 規約の改正

上記の目的を適切に達成するため、規約の改正を実施（令和7年5月15日施行）。主な改正点は下記のとおり。

- (1) 運賃の協議について定めている道路運送法第9条第4項について、独占禁止法上のカルテルにあたるとの疑義が生じないように、分科会として設置、要綱は別途定めた。
（第1条、第3条、第12条）
- (2) 協議会委員を新たに4人委嘱し、今後の委員数の増に対応するため、委員の上限を6人増やした。（第4条）
- (3) 会長を副市長から市長に変更（第6条）
- (4) 交通計画にかかわる部会を新設（第10条）

3. 協議会の概要

(1) 小松市地域公共交通活性化協議会

〈組織〉

会長：市長（規約第6条2項）

副会長：高山純一教授（公立小松大学）（規約第6条3項により会長が指名）

委員：28名

事務局：行政管理部地域交通政策室

〈開催予定〉

（対面）7月17日（木）、10月、1月、3月

（書面）随時

〈所掌事項〉

- ・地域公共交通計画（以下「計画」）の策定・変更に関する事
- ・計画に位置づけられた事業の実施に関する事項
- ・地域の乗合旅客運送の態様
- ・自家用有償旅客運送の登録に関する事
- ・協議会の運営方法 など

(2) 地域交通計画専門部会

〈組織〉

部会長：加藤 博和（名古屋大学）（規約第 10 条第 5 項により会長が指名）

委員：住民代表、観光・飲食店関係、学生、交通事業者等 18 名

事務局：行政管理部地域交通政策室

〈開催予定〉

6 月 21（土）、10 月 5 日、12 月、2 月

〈所掌事項〉

- ・計画の策定、変更案の策定に関すること
- ・計画関連に関する協議事項の協議会へ諮る素案の確認
- ・ワークショップに関すること（出席は任意）

(3) 福祉交通専門部会

〈組織〉

部会長：加藤 博和（名古屋大学）（規約第 11 条第 5 項により会長が指名）

委員：住民代表、運輸支局、タクシー事業者、労働組合等

事務局：行政管理部地域交通政策室、健康福祉部長寿介護課

〈開催予定〉

来年度から開催予定（今年度はプラン策定部会にて福祉交通を検討）

〈所掌事項〉

- ・高齢者、障がい者の公共交通に関する事項（今年度はプランに反映）
- ・福祉有償旅客運送に関する事項（3 年に 1 回更新手続きあり）

(4) 小松市運賃協議分科会

道路運送法第 9 条第 4 項の規定に基づき、本市の公共交通における運賃、料金等を総合的かつ円滑に協議するもの。

〈組織〉

会長：行政管理部長（小松市運賃協議分科会規約第 4 条第 2 項）

委員：運賃を変更する交通事業者、

関連行政機関（石川運輸支局）、住民の代表（町内会連合会）

事務局：行政管理部地域交通政策室

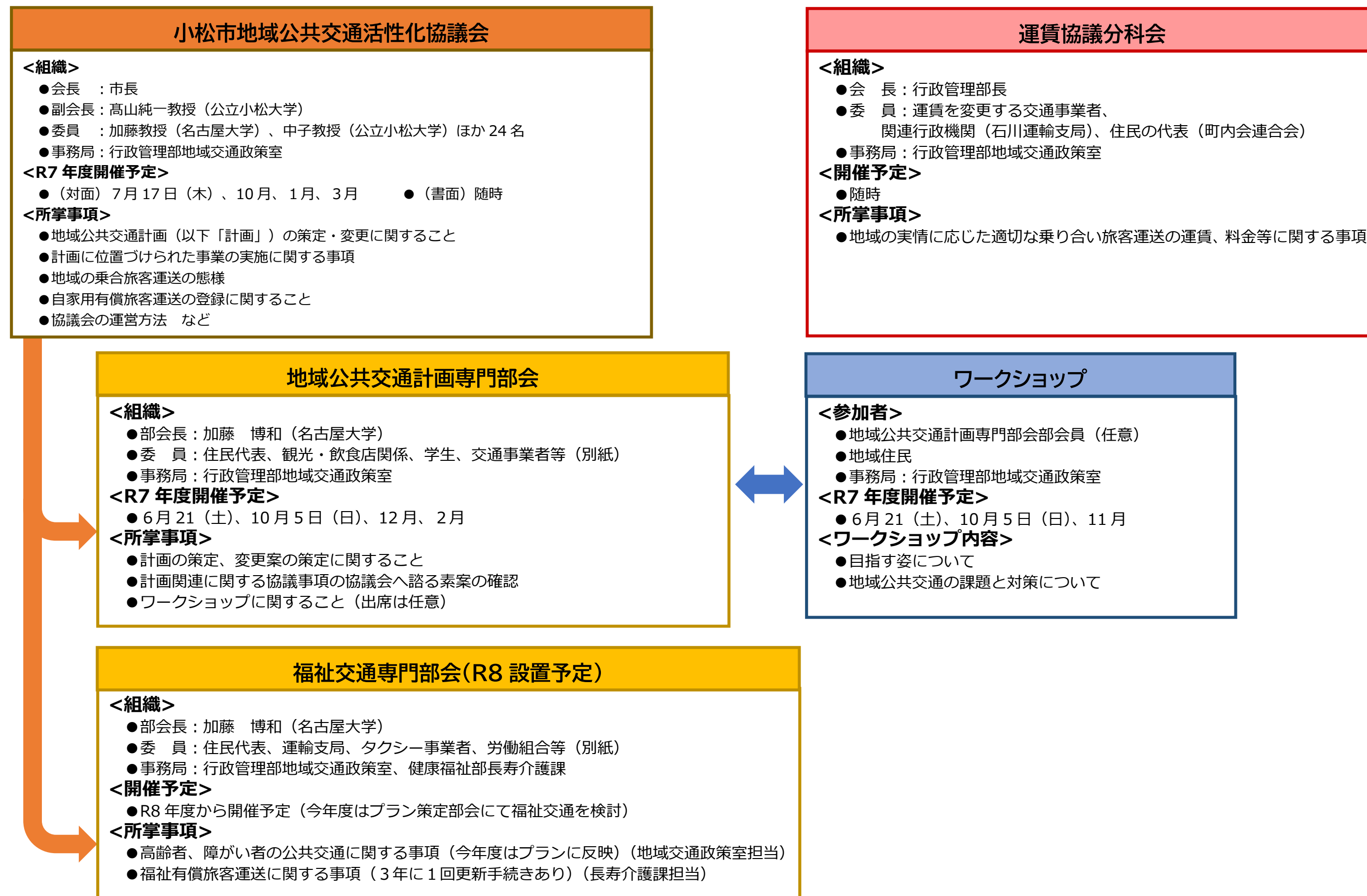
〈開催予定〉

随時

〈所掌事項〉

- ・地域の実情に応じた適切な乗り合い旅客運送の運賃、料金等に関する事項

小松市地域公共交通活性化協議会全体図



令和6年度 事業報告について

1. 小松市地域公共交通活性化協議会の開催状況について

年月日	事業の内容
R6. 6. 26	【協議事項】 (1) こまつ地域交通プランの一部改定について (2) 小松市地域内フィーダー系確保維持計画の策定について (3) 市内循環線南コースのルート及びバス停の見直しについて (4) 木場潟線のルート及びバス停の見直しについて 【報告事項】 (1) 小松市における公共交通の現状について (2) 自動運転バスの取組状況について (3) 小松市ライドシェアの取組状況について 会場：小松市役所 7 階会議室
R6. 10. 30 (書面表決)	【協議事項】 ・ 日末校下および月津校下における自家用有償旅客運送の更新について
R7. 1. 15	【協議事項】 (1) 小松市地域内フィーダー系確保維持計画の事業評価について (2) 市内循環線南コースのルート及びバス停の見直しについて 【報告事項】 (1) こまつ地域交通プランの見直しについて (2) 自動運転バスの取組状況について (3) 小松市ライドシェアの取組状況について 会場：小松市役所 7 階会議室

2. コミュニティバスの変更について

年月日	内容
R6. 10. 1	<市内循環線> ○バス停の新設 ・CKD(株)北陸工場の雇用拡大に伴い CKD 東門前に新しくバス停を新設 ○バス停の移設 ・千松閣が令和6年3月に閉館したことを受け、千松閣から CKD 入口前にバス停を移設 ○ルート変更（市内循環線南コース） ・若杉中、八幡温泉、やわたメディカルセンター、千松閣のバス停を往復しているが、輸送効率の向上のため、片道みの運行として CKD 東門前と新吉竹を直接結んだ。 ・最終便の利用状況を鑑み、最終便のみ大領から市民病院ほかを經由せず、土居原町へルート変更。 ○ダイヤ改正 ・上記のバス停新設及びルート変更に伴いダイヤ改正を実施。 <木場潟線> ○バス停の廃止及びルート変更 ・千松閣が令和6年3月に閉館したことを受け千松閣バス停を廃止。 ・往復ゾーンはやわたメディカルセンターのみを運行。 ○ダイヤ改正 ・上記のバス停の廃止及びルートの変更に伴い、ダイヤ改正を実施。

3. コミュニティバスのバス停ネーミングライツについて

小松市コミュニティバスが停留するバス停を市民のわかりやすい名称とすることで、バス利用者の利便性向上や官民協働体制で公共交通を支えコミュニティバス運行事業の改善を図るもの。

申込者	バス停名	期間	金額（年間）	備考
医療法人社団 愛康会	小松ソフィア 病院前	H31. 4. 1～R7. 3. 31	100,000 円	
医療法人社団 荒木病院	あらきクリニッ ク前	H31. 4. 1～R7. 3. 31	100,000 円	
CKD 株式会社	CKD 東門前	R6. 10. ～R11. 9. 30	250,000 円	初年度のため 設置費用込み
イオンモール 新小松	イオンモール 新小松	R4. 3. 22～R9. 3. 21	100,000 円	

4. こまつ地域交通プランの達成状況について

・鉄道及び路線バス、コミュニティバスの延べ利用者数

R1 年度 293 万人（H30 年度実績値）

鉄道 2,329,803 人

バス 600,230 人

R7 年度目標値 400 万人

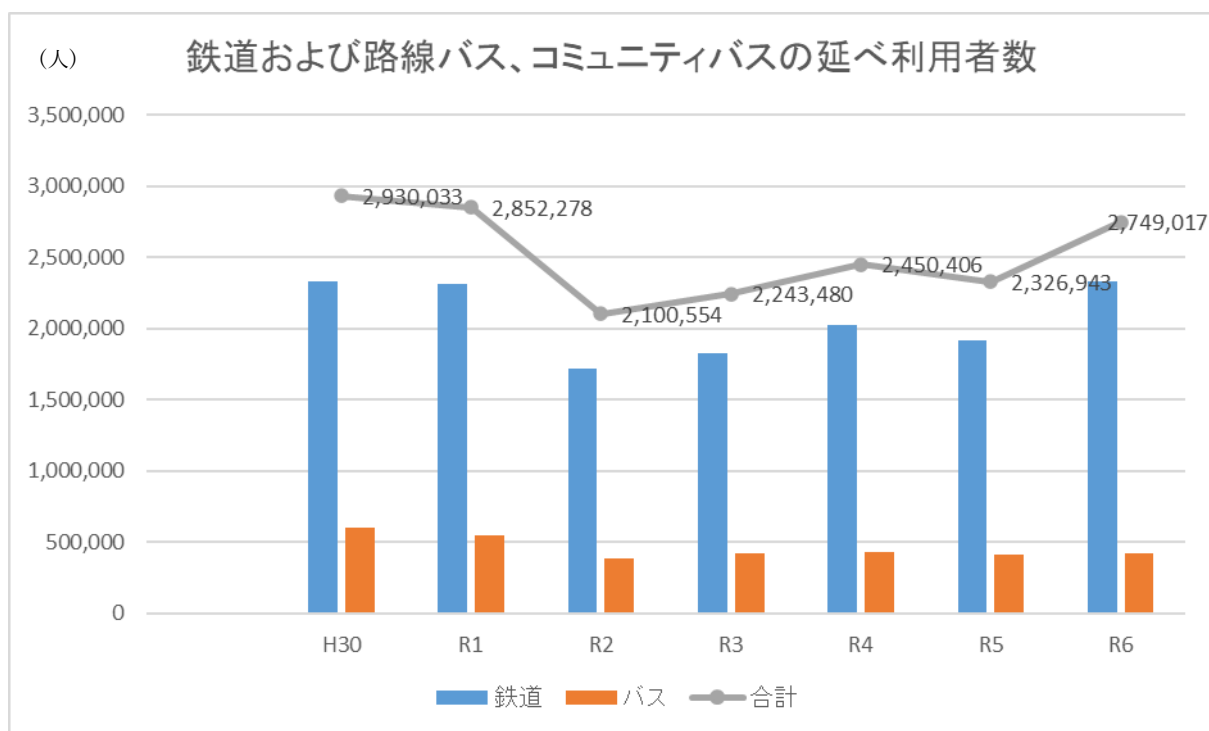
鉄道 330 万人

バス 70 万人

R6 年度現在 275 万人

鉄道 2,328,341 人

バス 420,676 人



〈要因〉

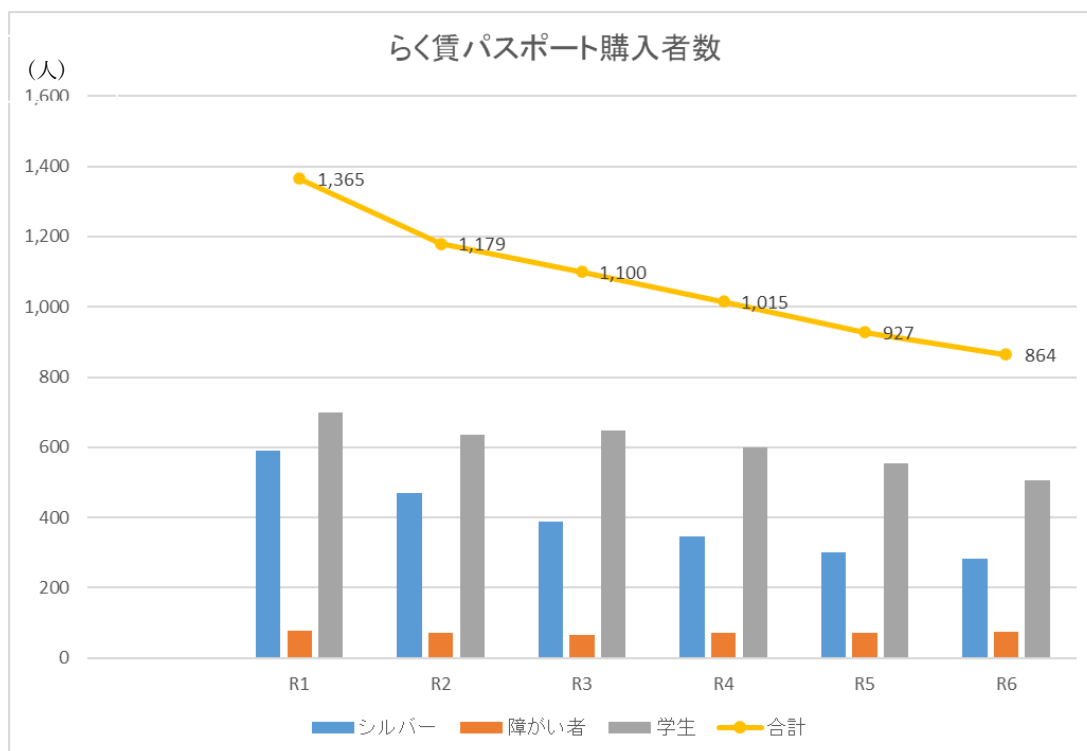
- ・コロナ禍で鉄道及びバスの利用者が大きく減少。
- ・鉄道利用者は、コロナ禍前までには戻っているものの、バス利用者はコロナ禍前までに戻っていない。
- ・高齢者の利用者が減少。免許を保持している高齢者が増加していること、コロナ禍により、外出しない生活スタイルに変化したこと等が考えられる。

・らく賃パスポートの購入者数

R1 年度 1,365 人

R7 年度目標値 1,400 人 【現状維持】

R6 年度現在 864 人



〈要因〉

- ・コロナ禍でバス利用者が減少したことに伴い、らく賃パスポート購入者数が減少。
- ・高齢者の利用者が減少。免許を保持している高齢者が増加していること、コロナ禍により、外出しない生活スタイルに変化したこと等が考えられる。

・路線バス、コミュニティバスの収支

R1 年度 61%

収入 142,764 千円

支出 234,945 千円

R7 年度目標値 65%

R6 年度 48%

収入 102,792 千円

支出 213,162 千円

〈要因〉

- ・未利用が多いダイヤは削減し効率化したものの、コロナ禍以降の利用者・収入の減少や燃料高騰等による経常費用の増加のため、収支率が低下した。

・路線バス、コミュニティバス等への運行負担額（歳出）

R1 年度	1 億 4, 900 万円
R7 年度目標値	1 億 1, 900 万円
R6 年度	1 億 4, 700 万円

〈要因〉

- ・コロナ禍により利用者・収入が減少し、燃料費高騰等による経常経費が増加したものの、らく賃パスポートの利用者数も減少し、らく賃パスポート補助金の支出が減少したため、微減となっている。

令和 6 年度 小松市地域公共交通活性化協議会 歳入歳出決算書

【歳入の部】

(単位：円)

項目			予算額	決算額	比較増減	説明
款	項	目	A	B	C (B-A)	
1	補助金		2,349,000	2,349,000	0	
	1	補助金	2,349,000	2,349,000	0	
		1 補助金	2,349,000	2,349,000	0	令和 6 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
	2	雑入	0	120	120	
		1 雑入	0	120	120	利息
2	繰越金		7	7	0	
	1	繰越金	7	7	0	
		1 繰越金	7	7	0	
計			2,349,000	2,349,127	127	

【歳出の部】

(単位：円)

項目			予算額	決算額	比較増減	説明
款	項	目	A	B	C (B-A)	
1	事業費		2,349,000	2,349,000	0	
	1	事業費	2,349,000	2,349,000	0	
		1 事業費	2,349,000	2,349,000	0	事業実施主体（小松市）へ繰り入れ
計			2,349,000	2,349,000	0	

令和6年度 会計決算監査報告書

令和6年度小松市地域公共交通活性化協議会の収支決算を監査した結果、収入支出ともに適正に執行されていることを確認しました。

平成7年 3月31日

小松市地域公共交通活性化協議会

監事 小松市町内会連合会 会計

北川 潔



監事 小松市
都市創造部長

渡井 宏



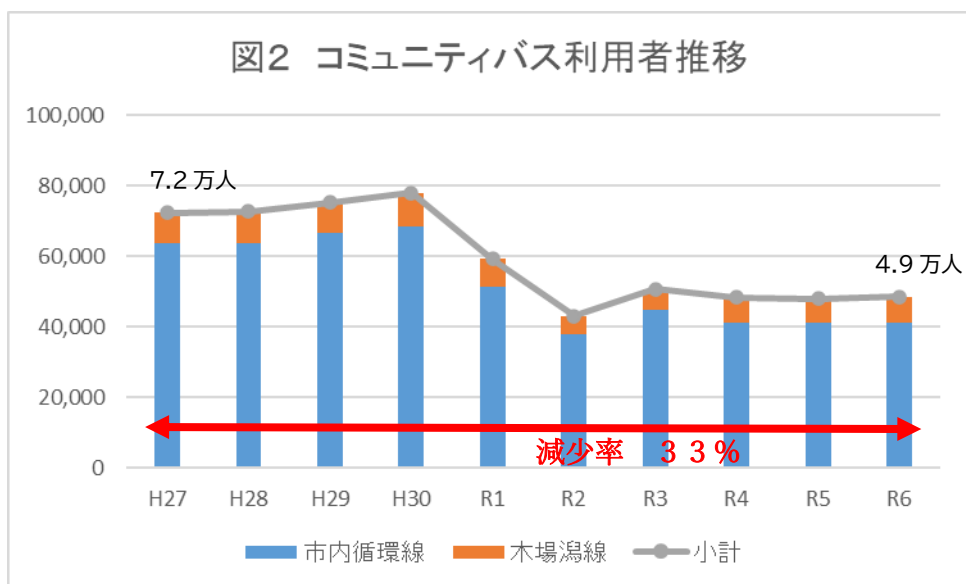
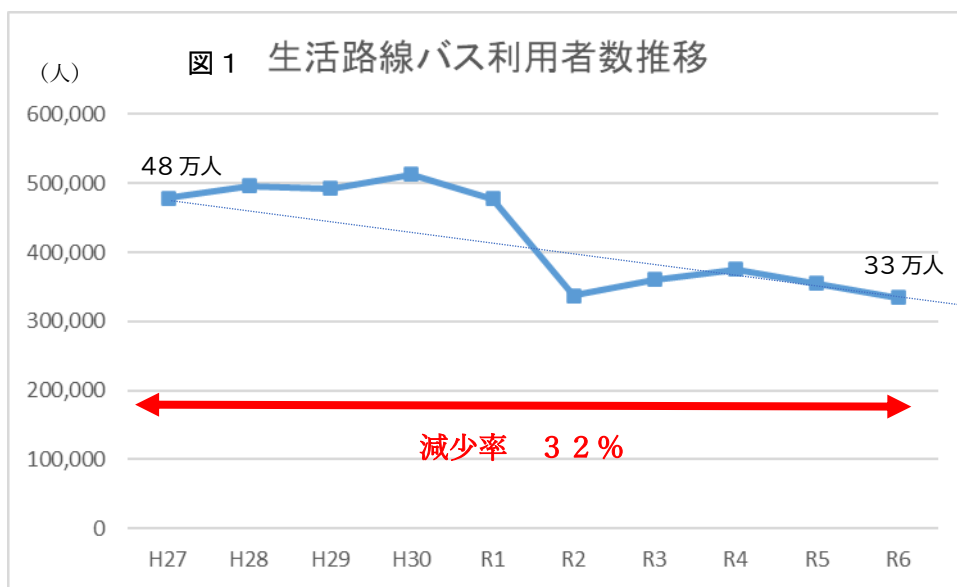
小松市地域公共交通活性化協議会

会 長 越田 幸宏 様

小松市における公共交通の現状について

1. 路線バス・コミュニティバスの利用者数

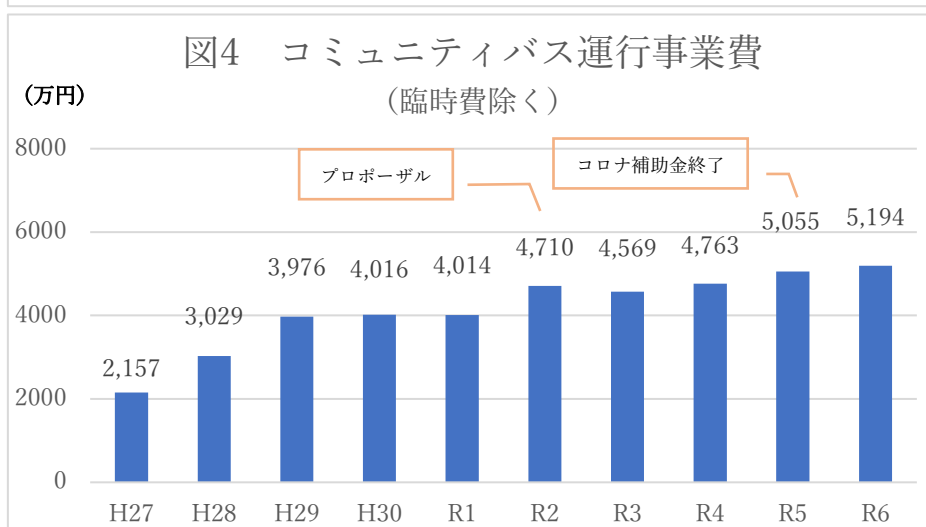
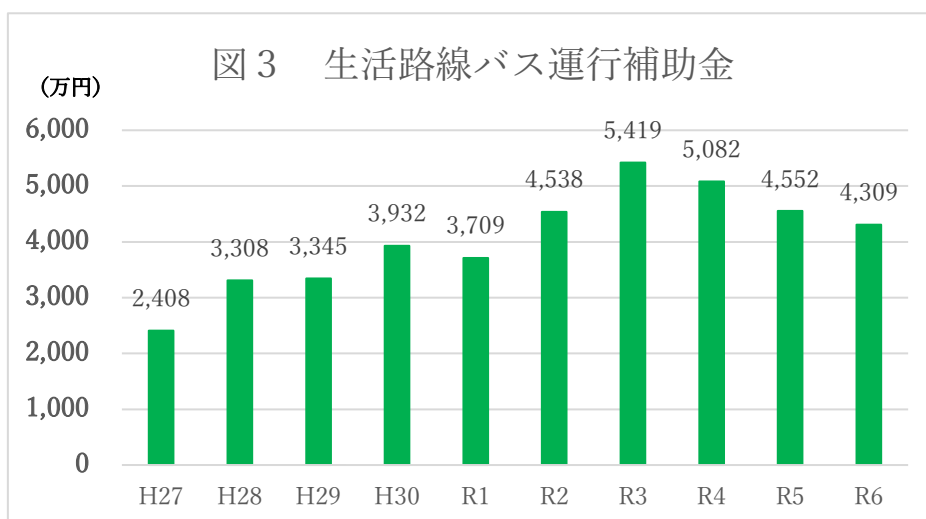
本市における路線バス・コミュニティバスの利用者数は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響による大きな落ち込みを見せているが、令和6年度ではコロナ前の利用状況は回復しておらず、減少傾向にある。



2. 公共交通にかかる行政負担

(1) 路線バス・コミュニティバスの状況

路線バス・コミュニティバス運行にかかる行政負担は増加傾向（図3・図4）。生活路線バス運行補助金は、平成27年度は約2,408万円であったが、令和6年度は約4,309万円と約1.8倍の増加。コミュニティバスは、平成27年度は2,157万円であったが、令和6年度は5,194万円と約2.4倍に増加。



(2) 利用者1人あたりの行政負担額

	H 2 7	R 6	増加率
生活路線バス運行補助金	約 50 円/人	約 129 円/人	約 258%
コミュニティバス運行事業費	約 300 円/人	約 1,060 円/人	約 353%

(3) 松東地区乗合タクシー事業

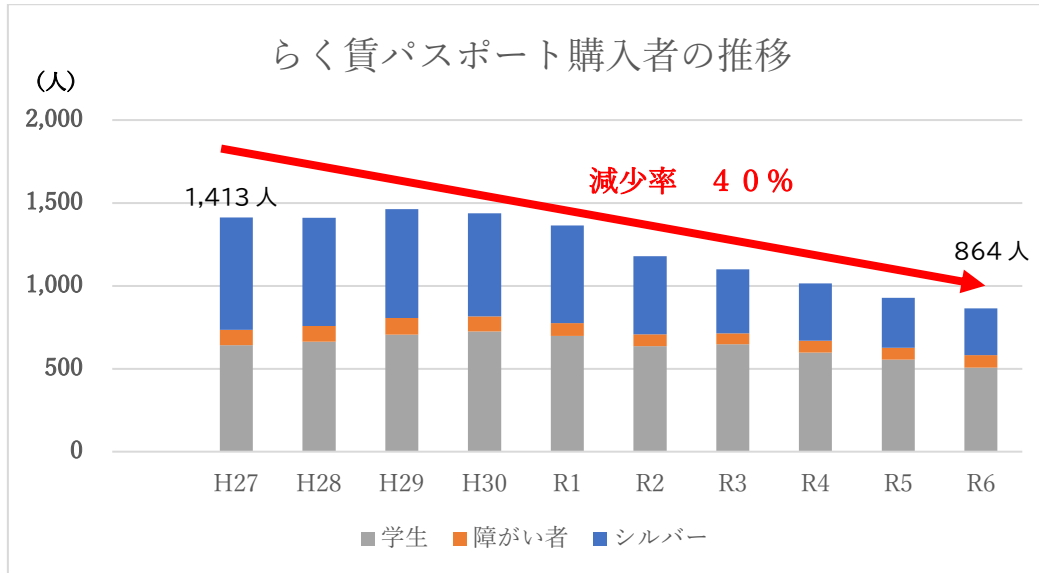
松東地区乗合タクシー事業の状況は、以下のとおり。

		R 4	R 5	R 6
松東地区乗合タクシー事業	利用者数	181 人	498 人	412 人
	事業費	約 61 万円	約 195 万円	約 144 万円

(4) らく賃パスポートの利用状況

平成27年度の購入者数は1,413人であったが、令和6年度は864人と549人減少（減少率約40%）。

このうち、シルバー区分が396人と高齢者の利用の減少（減少率約58%）



お得で便利！市内路線バスが乗り放題！

らく賃パスポート

市内のお出かけ・通学には便利な「らく賃パスポート」で路線バスをご利用ください。
※佐野線、空港連絡線のうち自動運転バス、市外区間ではご利用いただけません。

乗る時、降りる時にらく賃パスポートのQRコードをQRコードリーダーにタッチして読み込ませてください！
なお、降りる際はバス運転手に提示してからQRコードを読み込ませてください。

パスポートを購入できる方・料金

区分	購入できる方	料金	購入時に必要なもの
シルバー	小松市に住居登録がある65歳以上の方	1ヶ月：2,000円 2ヶ月：4,000円 3ヶ月：6,000円 4ヶ月：8,000円 5ヶ月：8,800円 6ヶ月：8,800円	健康保険証 個人番号カードなど
障がいのある方	小松市に住居登録があり、下記のいずれかの交付を受けている方 ・身体障害者手帳 ・療育手帳 ・精神障害者保健福祉手帳 ・運転免許証自主返納支援制度適用証明	左記手帳等のうちいずれかお持ちのもの	
中学生	小松市に住居登録がある中学生 もしくは 小松市内の中学に通学する中学生	1ヶ月：3,000円 2ヶ月：6,000円 3ヶ月：9,000円 4ヶ月：12,000円 5ヶ月：14,000円 6ヶ月：14,000円	在学証明書 ※バスポート購入前に通学している中学校から在学証明書を発行してもらってください。
高校生	小松市に住居登録がある高校生 もしくは 小松市内の高校に通学する高校生	5ヶ月：14,000円 6ヶ月：14,000円	学生証 ※新入生の方 学生証発行後の購入時には学校からの通知書類をお持ちください
大学生	小松市に住居登録がある大学生 もしくは 小松市内の大学に通学する学生	冬季特例：8,000円	

※利用開始日の1ヶ月前より購入できます
※大学生の区分には専修学校、小学校・中学校以外の国公立学校も含まれます
※市内対象学校：公立小松大学、小松看護専門学校、石川県立小松産業技術専門学校
※中学生・高校生・大学生の「冬季特例」は利用期間が12/1～2月末に固定された割引バスポートです
※バスポートの販売場所は裏面をご確認ください

【お問い合わせ先】こまつもしもしセンター 0761-20-0404

バスポートの販売場所

※販売場所によって、取扱バスポート区分、販売時間、休業日が異なりますので、事前にご確認ください。

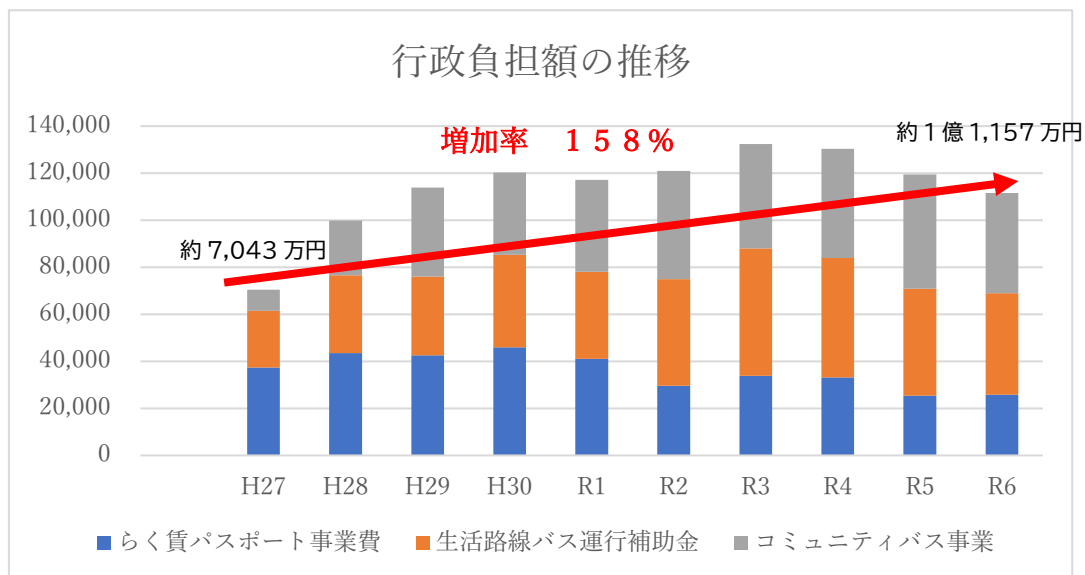
地区	販売場所	販売時間	休業日	取扱バスポート		連絡先
				シルバー 障がい	中学生 高校生 大学生	
丸内	小松市役所 市民課	8:30～18:30	土・日・祝	○	○	24-8217
	第一地区コミュニティセンター	9:00～17:00	5/3～5/8/14～16	○		23-2414
芦城	小松駅前行政サービスセンター	10:00～18:45(平日) 9:30～18:15(休日)	水曜日(祝日のとき曜日)	○	○	23-2323
	やわたメディカルセンター	9:00～17:00	日・祝・第2・4・5土 第1・3土午後	○		47-1212
	小松市立高校 【高校生後のみ対象】	開校しているとき			○	47-2910
安宅	北越加賀バス	8:45～17:30	土午後・日・祝	○	○	22-3721
	あたか鎮定こども園	9:00～17:00	土・日・祝	○		21-0287
松津	小松市民センター	9:00～17:00	水曜日(祝日のとき曜日)	○	○	24-6101
松崎	小松市民病院 総合案内	8:30～17:15	土・日・祝	○	○	22-7111
園府	市立園府公民館	9:00～17:00	日・月・祝	○	○	47-0342
中津	中津文化センター	9:00～17:00	水曜日(祝日のとき曜日)	○	○	47-5713
	豊郷児童センター	10:00～18:00	日・祝(こどもの日・スポーツの日を除く)	○	○	47-2667
松葉	市立松葉公民館	9:00～17:00	日・月・祝	○	○	46-1433
高部	高部支所	8:30～18:30	土・日・祝	○	○	44-2535
	本場こども園	9:00～17:00	土・日・祝	○		43-0098

注) ・年末年始はすべての販売場所が休業となります。
・お住まいの地区に限らず、どの場所でも購入できます。
・町内会や老人会等で一定数の購入希望者が集まるようであれば、出張販売も行っています。

(5) 公共交通全体にかかる行政負担（一般財源ベース）

公共交通全体の一般財源ベースでの行政負担は、平成27年度は約7,043万円であったが、令和6年度では約1億1,157万円と約1.6倍の増加。

らく賃バスポート事業のみ減額傾向にあるが、購入者数の減少が要因と考えられる。

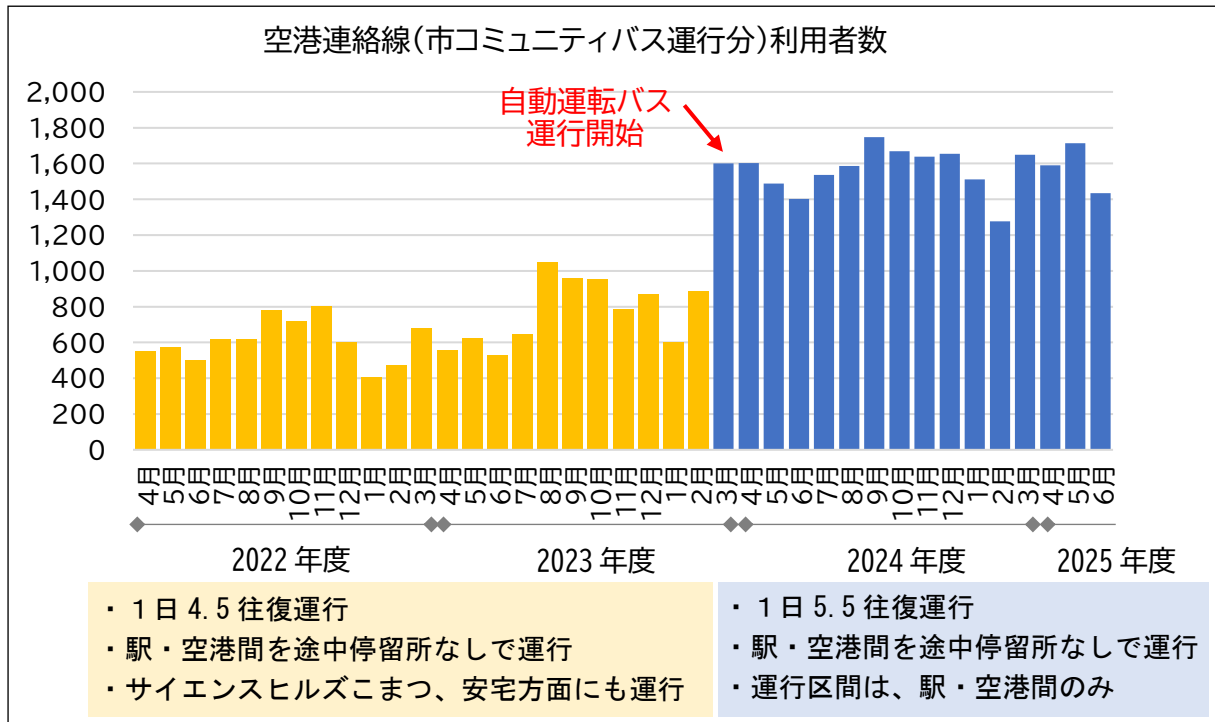


自動運転バスの取組状況について

1. 路線バスとしての運行

(1) 運行の状況

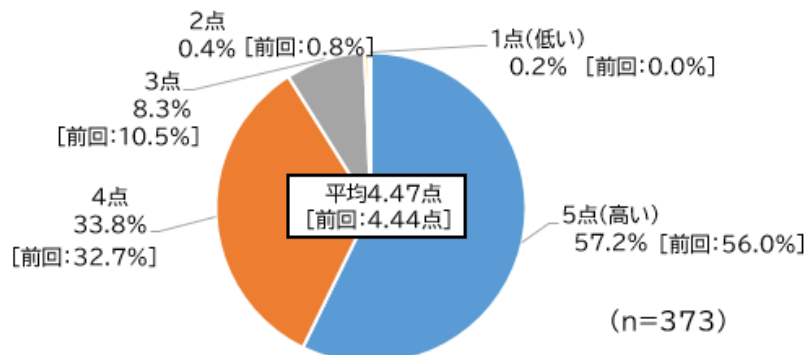
- 2025年6月末時点で、5,199便が走行し、24,867人が利用
- 利用者の74%が小松駅発の便の利用者
(※ 時刻表どおりの運用のため、飛行機の遅延には対応していない)
- 自動運転バスの運行開始後、利用者は大幅に拡大している



(2) 利用者の評価

【利用者アンケート】 令和7年3月10日～4月7日実施、回答人数 477 人

- 路線バスとしての評価・満足度として、5点満点中 平均 4.47 点であり、前回調査 (4.44 点) から微増



自動運転バスの路線バスとしての評価・満足度

※一般的な路線バスを基準として、5点（高い）～1点（低い）の5段階で評価

※前回調査：令和6年9～10月実施

- 利用者の 58.6%が自動運転バスを認識し、29.2%があえて自動運転バスを選んで乗車
- 16.7%が発車前に不安を感じており、その理由として「未体験だから」の回答が前回調査と同様に最多（不安を感じた方の 65.4%）
- 8.5%が「乗車中に危険を感じた」と回答し、前回調査（9.6%）から微減
※危険を感じた場面として、「停止時」「緊急停止時」を挙げる意見が多く見られる
- 改善が望ましい事項として、「ブレーキ」が最も多く（44.0%）、次に「加速・最高速度」が多い（23.4%）

2. 自動運転レベル4※に向けた取組

（※システムによる監視・特定条件下における完全自動運転）



- 「駅から空港までの区間」及び「空港から浜田町バス停までの区間」合計約 7.5km について、北陸信越運輸局より車両としてのレベル4認可を取得（令和7年3月28日）



- ・ 県公安委員会が所管するレベル4走行に係る許可に向けて、今年度上半期の申請に向けて、現在準備を行っている
- ・ 県公安委員会による許可取得後は、レベル4での路線バスとしての走行に向けた調査・検証を行うほか、関係者等の試乗についても実施を予定

- 「浜田町バス停から小松駅までの区間」約 1km は、『細工町交差点での右折』と『右折に向けたレーンチェンジ』があり、対向車や周辺車両の速度も速く、また一部に法定速度を超えて走行する車両も見られ、より高い自動運転の性能が求められる



- ・ 今年度の取組として、センサーやシステムの高度化を行い、本区間で安定した走行ができるように自動運転車両としての性能向上を図る
- ・ レベル4認可取得に向けた手続きを行う

3. 視察受入

- 全国での水平展開につながる事業モデルとしての特長を有することから、全国から視察を受け入れている（有償）
- 令和6年度は、32件の視察受入を実施
 - （国省庁 10 件、地方自治体 7 件、民間企業 5 件、地方議会 2 件、民間団体 2 件）
 - （国会議員、首長会、研究機関、交通機関、海外団体、ジャーナリスト 各 1 件）

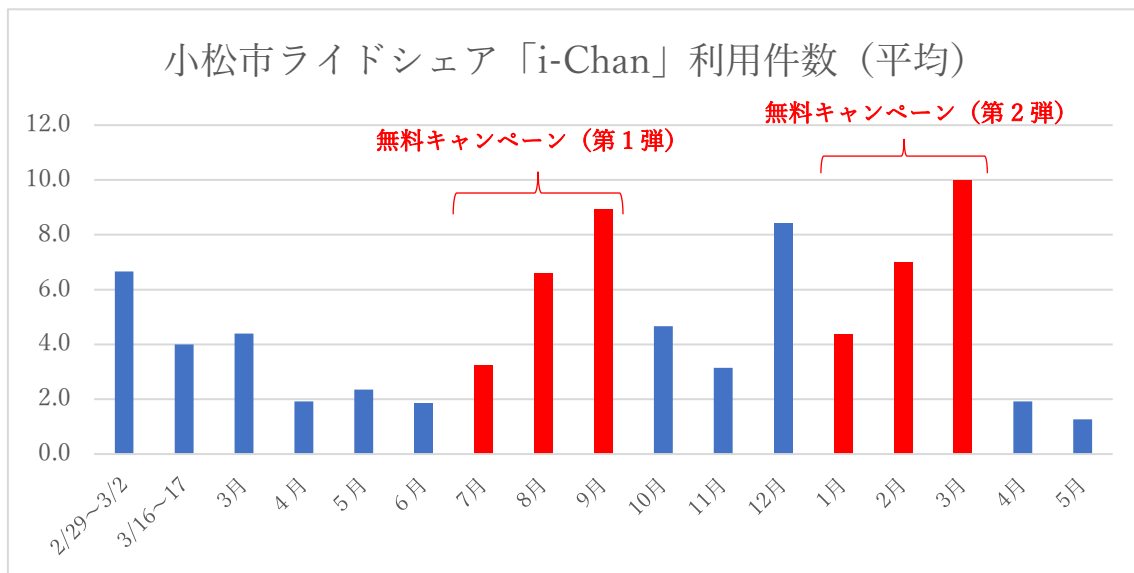
小松市ライドシェアの運行状況について

1. 運行状況

期間・経緯	内容
令和6年 2月29日(木)～3月2日(土) (3日間) ・復興ライドシェアとして、能登半島地震における被災者を対象として実施	・無料クーポンにて乗車 (市内間移動のみ、タクシーも利用可)
令和6年 3月16日(土)～3月17日(日) (2日間) ・北陸新幹線小松駅開業に合わせ実施 (市内⇄能美市又は加賀市へ拡大)	・被災者は無料クーポン、来訪者・市民はPayPay
令和6年 3月22日(金)～現在 ・通常運行開始	・運行日は木、金、土(祝日も含む)
令和6年 6月8日(土)～	・アプリ内決済(クレジット決済)の導入
令和6年 7月19日(金)～9月30日(月)	・第1弾無料キャンペーンの実施 (無料クーポン3枚配布)
令和7年 1月16日(木)～3月29日(土)	・第2弾無料キャンペーンの実施 (無料クーポン2枚配布)

2. 利用実績

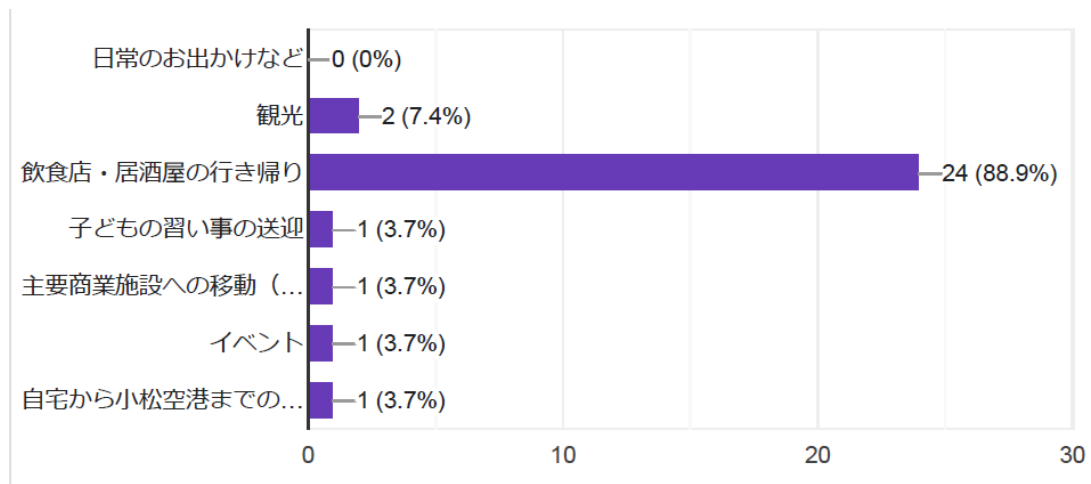
令和7年6月1日現在						
年	月	運行日数(日)	利用件数(件)	利用人数(人)	平均(件)	平均(人)
令和6年	2/29~3/2	3	20	41	6.7	13.7
	3/16~17	2	8	24	4.0	12.0
	3月	5	22	39	4.4	7.8
	4月	12	23	32	1.9	2.7
	5月	14	33	48	2.4	3.4
	6月	13	24	35	1.8	2.7
	7月	12	39	68	3.3	5.7
	8月	15	99	172	6.6	11.5
	9月	12	107	155	8.9	12.9
	10月	12	56	102	4.7	8.5
	11月	14	44	59	3.1	4.2
	12月	12	101	137	8.4	11.4
令和7年	1月	11	48	67	4.4	6.1
	2月	12	84	149	7.0	12.4
	3月	13	130	185	10.0	14.2
	4月	12	23	32	1.9	2.7
	5月	15	19	32	1.3	2.1
合計		189	880	1,377	4.7	7.3



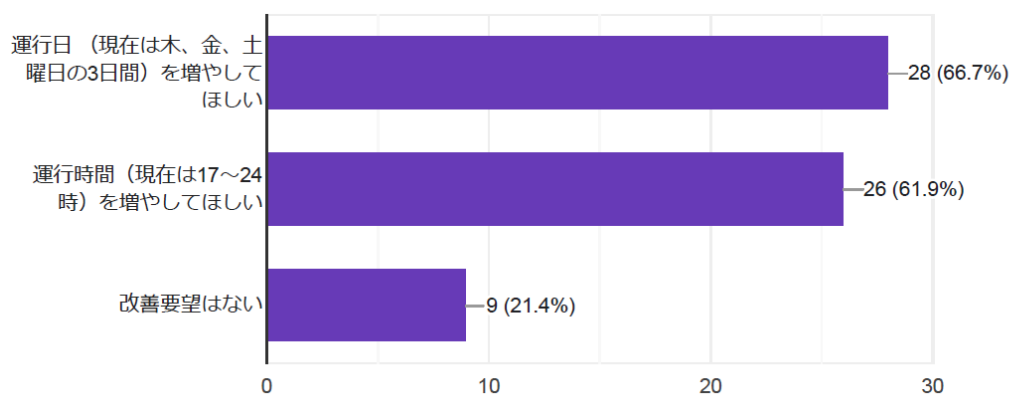
3. 利用者の声

アプリ内でアンケートを実施。(複数回答あり)

〈どのような目的で利用したか：回答 27 件〉



〈要望：回答 42 件〉



4. ドライバーの声

- ・利用者が、行先を間違えて登録していた時の対応が難しい
- ・予約がない時の待機の時間帯が苦痛。待機の時間帯がないように利用促進をしてほしい
- ・泥酔の方を乗せた際の対応が不安
- ・ドライバー側のトレーニングは時間をかけて実施してほしい
- ・改善点があればその都度改良してほしい
(予約が入った際の合図、お客様のお迎え場所に到着した際の連絡など改善済)
- ・タクシーと同じく待機場を検討してほしい
- ・お客さんとの会話が楽しい

・SNS 市公式LINE、インスタ、Facebook

[illegible]

クレジットカードによるお支払いが可能

iPhone・Androidでも
ダウンロードはこちら >

小松市ライドシェア

無料 乗車 キャンペーン!

期間: 7/19 - 9/30

対象者

アプリより登録/予約済みの方

条件

- 1人あたり3回まで（複数利用可）
- 任意利用可なし
- アプリ内でのみお支払い可能
（現金でのお支払いは対象外となります。）
- キャンペーン開始（7/19）より前の
乗車分は、キャンペーン3回分
に含まれません。

アプリからの予約方法

「小松市ライドシェア」をインストールし、
iChanにログインしてください

乗車者と利用料を
選択してください

乗車位置を選択します

ご希望の車種・サイズを選択

予約の受付
が完了です

小松市ライドシェア
利用案内FAQ
はこちら

小松市ライドシェア・iChangは、各企業と連携したデジタルソリューションズが提供するアプリです。
「iChang」より多くの企業にご利用いただけます。

スマートフォンに
インストールする

小松市役所 情報戦略課

information@city.komatsu.jp

株式会社「テクノロジーズ」

クレジットカード・PayPayによる
お支払いが可能

iPhoneでもAndroidでも
ダウンロードはこちら >

小松市ライドシェア

運行時間

毎週木・金・土曜日 17:00~24:00

運行エリア

小松市・能美市・加賀市
※高度地のところから約10分以内は利用可

期間

1/16~3/29

無料乗車

キャンペーン!

対象者

アプリより登録/予約した方

条件

- 1人あたり2回まで（乗客の利用可）
- 即時利用可なし
- アプリ目的のみが対象
（乗客目的の会員登録は必要となります。）
- キャンペーン開始（1/16）より前
の乗車分は、キャンペーン2回分
に含まれません。

アプリからの予約方法

「iチャネル」画面の
「小松市ライドシェア」を
タップしてください

乗降地と目的地を
選択してください

乗車を申し込めます

利用料額と手数料を
選択します

予約内容が
表示されます

小松市ライドシェア
新着案内FAQ
はこちら

ハパフク

公共バス利用アプリ「City Bus」
株式会社バスチケット・テクノロジー
が提供する「小松市ライドシェア」
アプリのダウンロードはこちら

「iチャネル」に
ログイン
してください
※「iチャネル」に
ログインして
予約するアプリ
は「小松市ライド
シェア」です

小松市観光 小松市観光協会
※「iチャネル」に
ログインして
予約するアプリ
は「小松市ライド
シェア」です

**小松市ライドライシェ「i-Chan」
ドライブイン募集!**

住民や観光客、北陸新幹線が本市を訪れた方に加え、岐阜半島地帯で被災された方の移動を確保するため、自家用車を活用した小松市ライドライシェ（愛称：i-Chan）を行います。

募集内容

業務内容 自家用車を使用し市民や来訪者の送迎業務を行うもの（自家用有償旅客運送）

運送区域・時間帯 小松市が出发点又は到着点となる運行区間 17時から24時

募集対象

- ・年齢が21歳以上かつ70歳未満の方
- ・普通自動車運転免許の取得後3年以上経過しており、過去2年以内に免許停発履歴がない方
- ・普通自動車、安全講習を受講していたこと
- ・任意保険（対人対物無制限、同乗者への補償が3千万円以上）に加入の方
- ・小松市有償旅客運送自動車乗務員を小松市に加入した上で（上乗せ乗務員、スマートフォン又はタブレットをお持ちの方（中山間地でも必要と安定しているもの）、14時から24時、運行業務に専ら従っていただける方）も必要と可能なる方）
- ・指定の譲渡を指定の日時に受講し修了していただける方
- ・関係法令を遵守し、安全運転に努めていただける方 反社会的勢力と関係していない方

持込（運行）車両 乗用車（軽自動車可）

車庫や法定駐車場で8ヶ月以上経過している場合は法定検定（12ヶ月検定）を受けてください。

ドライブレコーダー（前・後車内）を設置してください。（事故、犯罪防止のための）

（1月15日以前より、1年間継続を条件に、ドライブレコーダーの無償設置（最大20名）及び法定検定に要した費用を補助します。）

ドライバー報酬	運賃の70%
ドライバー手当	燃料費：15円/km 夜間手当：500円/回（22時以降） 通費費：2,000円/月（年間通して月平均8日以上乗務された方）

募集人数 30人程度

応募方法 右記のフォームから必要事項を入力していただき応募していただく。
必要書類をメールまたは郵送してください。
メールにて送附する際は、明細に撮影された写真等も添付してください。記載内容を確認していただき、再送をお願いする場合があります。

申込に必要な書類等

①ドライバー登録申込書（募集）②持込車両の運転免許の写し③運転免許証の写し（両面）
④任意保険証券の写し（保険加入者及び1番車主の写し）

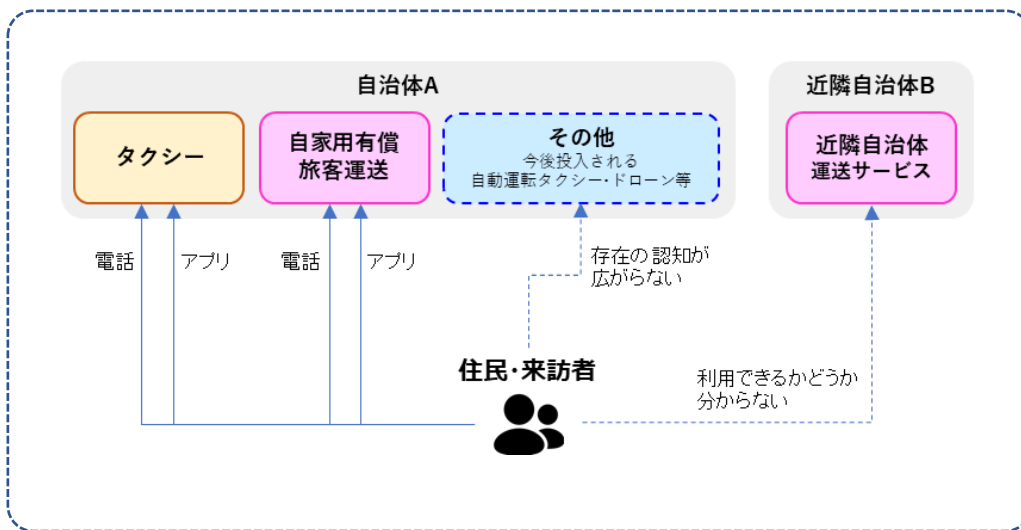
<お問い合わせ>
97-23-8650 小松市小島出町91番地
TEL 0761-24-8391 FAX 0761-23-6404
E-MAIL hatsugutsu@city.komatsu.lg.jp

6. タクシーとの共同運営について

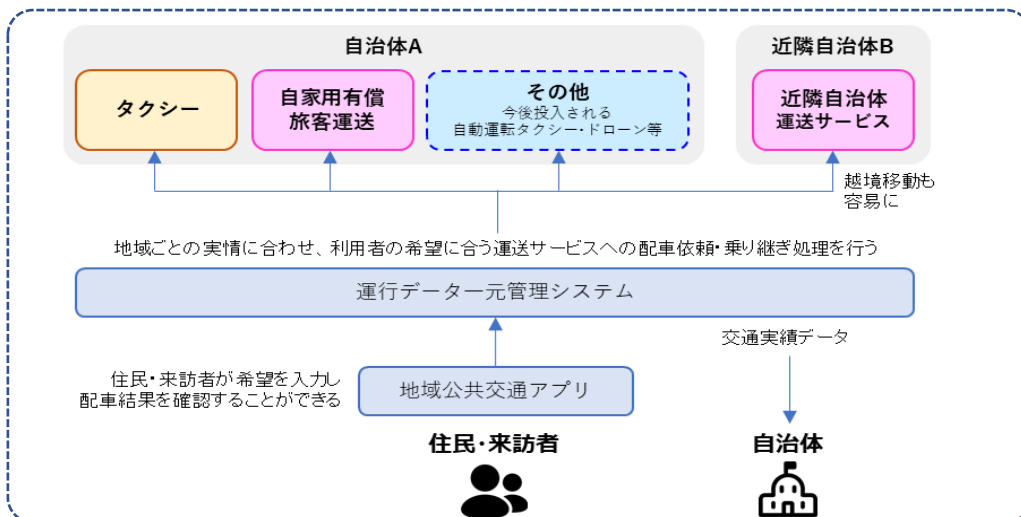
・令和6年度に、小松市、富山県南砺市、石川県、富山県と共同で、複数の交通サービス（タクシー、公共ライドシェア等）運行データの一元管理システムを構築し、タクシーとの共同輸送サービスを年度導入

→タクシーの配車が困難な場合にライドシェアを配車できるよう年度内に共同運営の仕組みを構築

【現状】



【構築後】

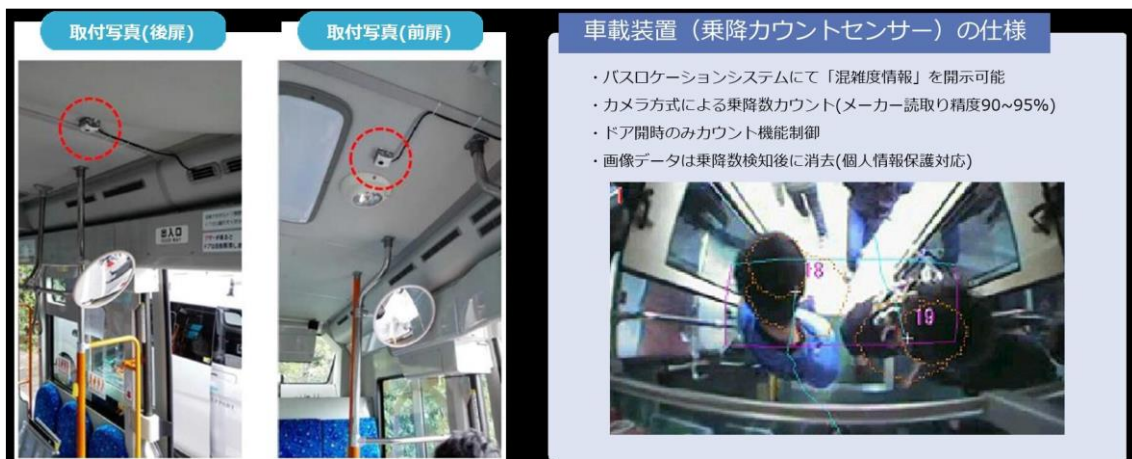


乗降カウントセンサーの設置及びバスロケーションシステムの導入について

〈乗降カウントセンサーの設置〉

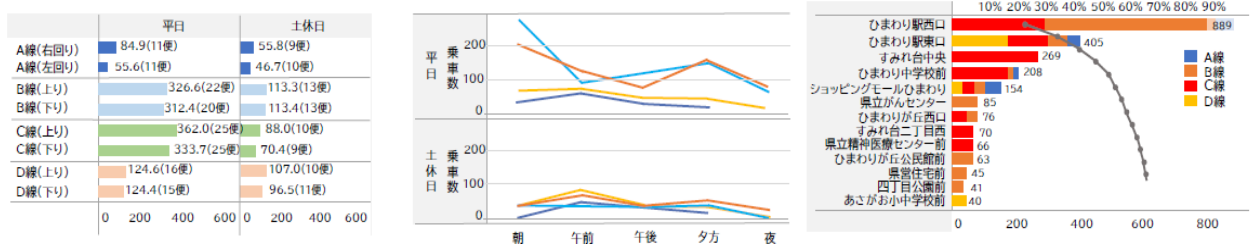
1. 概要

現在、当市の路線バスで導入している「らく賃バスポート OD データ収集システム」で整備されたバス車内の車載器に、乗降カウントセンサーを取り付けることで、バス停間の乗降客数をリアルタイムで収集し、WEB 上でデータを閲覧・分析するもの。



〈分析項目〉

- ・路線別 1 日あたりの平均乗車数
- ・路線別時間帯別の平均乗車数
- ・各停留所の 1 日あたり利用量分布 他



これらの分析結果は地図上にも可視化（QGIS を活用）をすることで、直感的に理解しやすく、議論の助けとなるアウトプットを実現する。

乗降カウントセンサーで取得した乗降データに加えて、らく賃バスポート OD データ、オープンデータ（年代ごとの人口、市内主要施設情報等）、アンケート結果等の複数データを組み合わせた分析を実施し、現状把握と課題抽出をする。

2. 導入台数

路線バス（北鉄加賀バス）	14台
コミュニティバス（日本海観光バス）	4台

3. スケジュール

	7月	8月	9月
乗降カウントセンサー準備			
乗降カウントセンサー取付			
運行状況調査システム構築			
運行状況調査システム本番運用			

- ・乗降カウントセンサーの取り付けは完了
- ・運行状況調査システムを8月から本番運用予定（7月に検証）

<バスロケーションシステム>

○概要

「らく賃パスポート OD データ収集システム」で整備されたバス車内の車載器およびシステム環境を活用し、バスロケーションシステムを導入するもの。

○特徴

- ・各バス停に専用の二次元バーコードを発行
- ・利用者はスマートフォン等で読み取ることで、バスの接近情報を確認可能
- ・管理画面から「お知らせ情報」を配信可能
- ・管理画面から「バスリアルタイム情報」を確認可能

令和7年度 事業計画（案）について

1. 小松市地域公共交通活性化協議会等の開催（予定）

開催時期	内容
令和7年7月17日	・事業報告、決算（令和6年度） ・公共交通の現状報告 ・自動運転バス、小松市ライドシェアの取組状況報告 ・路線バス乗降データの取得 ・事業計画、収支予算（令和7年度） ・地域公共交通計画のアップデート ・乗合型公共ライドシェアの実証実験 など
令和7年10月	・地域公共交通計画のアップデート ・乗合型公共ライドシェアの実証実験 ・公共ライドシェアの運行時間見直し など
令和8年1月	・地域公共交通計画のアップデート ・フィーダー補助の事業評価 など
令和8年3月	・地域公共交通計画のアップデート ・事業予定、収支予算（令和8年度）

2. 地域交通計画専門部会の開催（予定）

開催時期	内容
令和7年6月21日	・計画の目指す姿の確認（ワークショップ開催）
令和7年10月5日	・現状分析、施策、KPIの確認
令和7年12月	・計画の確認
令和8年2月	・計画の最終確認

3. ワークショップの開催（予定）

開催時期	内容
令和7年6月21日	・計画の目指す姿の確認
令和7年10月5日	・課題説明、合意と解決に向けたアイデア出し
令和7年11月	・施策・KPIの合意とKPI達成のための事業アイデア出し

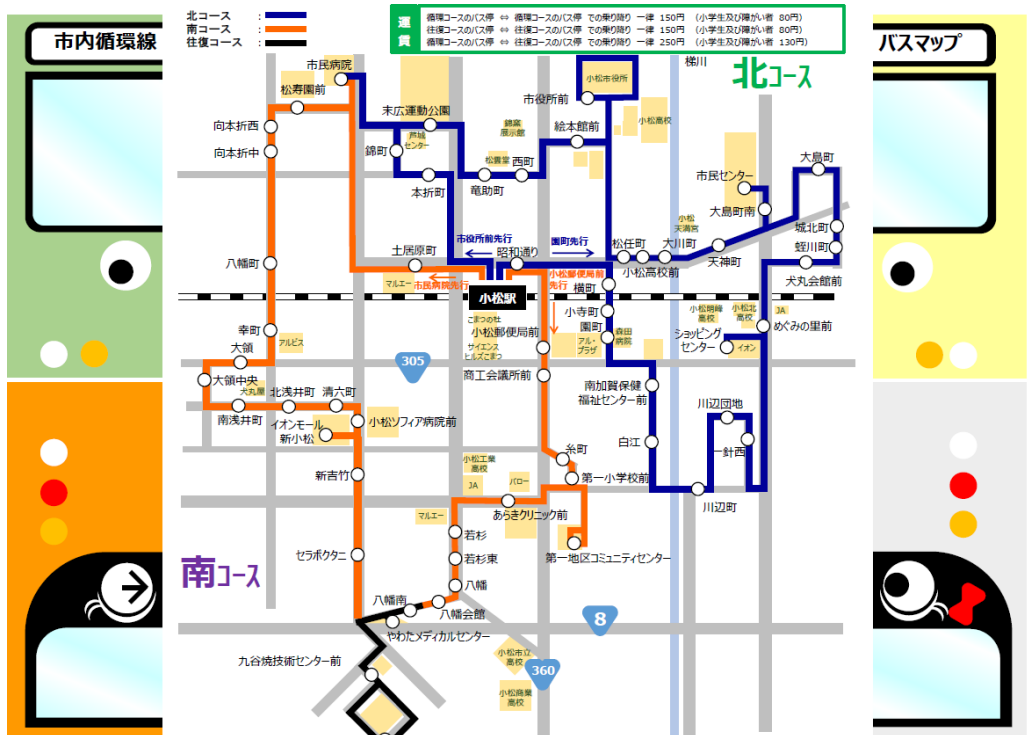
4. コミュニティバス運行事業

(1) 市内循環線

運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

運行ルート：北コース、南コース

運行事業者：日本海観光バス(株)



市内循環線 運行時刻表

2025年4月1日現在

365日毎日運行！（土日祝日も同時刻で運行します）
買い物や通院、進学など路線バスで出かけよう！！

北コース

市役所前先行				市民病院先行			
小松駅前発				小松駅前発			
バス停	発着時刻	バス停	発着時刻	バス停	発着時刻	バス停	発着時刻
小松駅前	7:40	小松駅前	9:00	小松駅前	7:35	小松駅前	8:50
昭和通り	7:41	小松駅前	9:02	土居原町	7:37	昭和通り	8:51
横町	7:43	小松駅前	9:03	市民病院	7:40	市民病院	8:53
小松駅前	7:44	小松駅前	9:05	松島町	7:41	松島町	8:55
大橋	7:46	小松駅前	9:07	向本折西	7:42	大橋	8:56
南加賀保健福祉センター	7:48	小松駅前	9:09	向本折中	7:43	南加賀保健福祉センター	8:57
白江	7:49	小松駅前	9:10	八幡町	7:44	白江	8:59
川辺町	7:50	小松駅前	9:12	幸町	7:45	川辺町	9:02
川辺町	7:52	小松駅前	9:13	大橋	7:47	川辺町	9:03
一針西	7:53	小松駅前	9:17	大橋中央	7:48	一針西	9:03
ショッピングセンター	8:03	小松駅前	9:18	南浅井町	7:50	ショッピングセンター	9:04
めぐみの里前	8:05	小松駅前	9:19	北浅井町	7:52	めぐみの里前	9:05
犬丸会館前	8:07	小松駅前	9:20	清六町	7:53	犬丸会館前	9:06
横川町	8:08	小松駅前	9:22	小松ソフィア病院前	7:54	横川町	9:09
城北町	8:09	小松駅前	9:23	イオンモール小松	7:56	城北町	9:13
大島町南	8:11	小松駅前	9:26	新吉竹	7:59	大島町南	9:15
大島町南	8:11	小松駅前	9:28	セラボクテ	8:00	大島町南	9:19
市民センター	8:14	小松駅前	9:29	九谷焼技術センター前	8:03	市民センター	9:20
天神町	8:14	小松駅前	9:30	小松ソフィア病院前	8:05	天神町	9:23
大橋	8:15	小松駅前	9:32	やわたメディカルセンター	8:09	大橋	9:25
小松高校前	8:16	小松駅前	9:36	小松ソフィア病院前	8:10	小松高校前	9:26
松任町	8:17	小松駅前	9:41	八幡町	8:11	松任町	9:27
市役所前	8:21	小松駅前	9:42	八幡町	8:12	市役所前	9:29
絵本館前	8:22	小松駅前	9:43	八幡町	8:13	絵本館前	9:31
西町	8:24	小松駅前	9:44	八幡町	8:14	西町	9:32
電助町	8:25	小松駅前	9:46	八幡町	8:15	電助町	9:34
末広運動公園	8:27	小松駅前	9:48	八幡町	8:16	末広運動公園	9:35
市民病院	8:29	小松駅前	9:49	八幡町	8:17	市民病院	9:37
錦町	8:31	小松駅前	9:50	八幡町	8:18	錦町	9:38
本折町	8:32	小松駅前	9:51	八幡町	8:19	本折町	9:40
小松駅前	8:36	小松駅前	9:58	八幡町	8:20	小松駅前	9:43

南コース

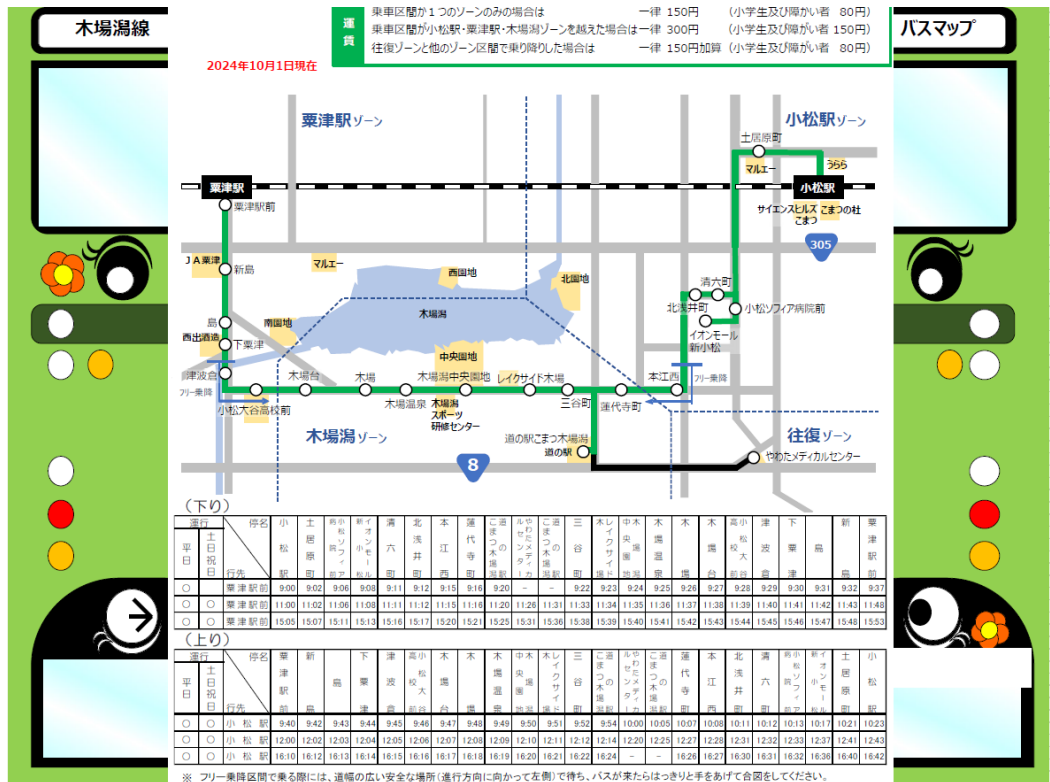
市民病院先行				小松郵便局前先行			
小松駅前発				小松駅前発			
バス停	発着時刻	バス停	発着時刻	バス停	発着時刻	バス停	発着時刻
小松駅前	7:35	小松駅前	8:50	小松駅前	7:35	小松駅前	8:50
土居原町	7:37	小松駅前	8:51	土居原町	7:37	土居原町	8:51
市民病院	7:40	小松駅前	8:53	市民病院	7:40	市民病院	8:53
松島町	7:41	小松駅前	8:55	松島町	7:41	松島町	8:55
向本折西	7:42	小松駅前	8:56	向本折西	7:42	向本折西	8:56
向本折中	7:43	小松駅前	8:57	向本折中	7:43	向本折中	8:57
八幡町	7:44	小松駅前	8:59	八幡町	7:44	八幡町	8:59
幸町	7:45	小松駅前	9:02	幸町	7:45	幸町	9:02
大橋	7:47	小松駅前	9:03	大橋	7:47	大橋	9:03
大橋中央	7:48	小松駅前	9:03	大橋中央	7:48	大橋中央	9:03
南浅井町	7:50	小松駅前	9:04	南浅井町	7:50	南浅井町	9:04
北浅井町	7:52	小松駅前	9:05	北浅井町	7:52	北浅井町	9:05
清六町	7:53	小松駅前	9:06	清六町	7:53	清六町	9:06
小松ソフィア病院前	7:54	小松駅前	9:09	小松ソフィア病院前	7:54	小松ソフィア病院前	9:09
イオンモール小松	7:56	小松駅前	9:13	イオンモール小松	7:56	イオンモール小松	9:13
新吉竹	7:59	小松駅前	9:15	新吉竹	7:59	新吉竹	9:15
セラボクテ	8:00	小松駅前	9:19	セラボクテ	8:00	セラボクテ	9:19
九谷焼技術センター前	8:03	小松駅前	9:20	九谷焼技術センター前	8:03	九谷焼技術センター前	9:20
C K D 東門前	8:05	小松駅前	9:23	C K D 東門前	8:05	C K D 東門前	9:23
やわたメディカルセンター	8:09	小松駅前	9:25	やわたメディカルセンター	8:09	やわたメディカルセンター	9:25
八幡町	8:10	小松駅前	9:26	八幡町	8:10	八幡町	9:26
八幡町	8:11	小松駅前	9:27	八幡町	8:11	八幡町	9:27
八幡町	8:12	小松駅前	9:29	八幡町	8:12	八幡町	9:29
若杉東	8:12	小松駅前	9:31	若杉東	8:12	若杉東	9:31
若杉西	8:13	小松駅前	9:32	若杉西	8:13	若杉西	9:32
あらかりクリニック前	8:14	小松駅前	9:34	あらかりクリニック前	8:14	あらかりクリニック前	9:34
第一地区コミュニティセンター	8:16	小松駅前	9:35	第一地区コミュニティセンター	8:16	第一地区コミュニティセンター	9:35
第一小学校前	8:17	小松駅前	9:37	第一小学校前	8:17	第一小学校前	9:37
松島町	8:18	小松駅前	9:38	松島町	8:18	松島町	9:38
小松郵便局前	8:20	小松駅前	9:40	小松郵便局前	8:20	小松郵便局前	9:40
昭和通り	8:22	小松駅前	9:43	昭和通り	8:22	昭和通り	9:43
小松駅前	8:25	小松駅前	9:50	小松駅前	8:25	小松駅前	9:50

(2) 木場潟線

運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

運行ルート：小松駅→栗津駅、栗津駅→小松駅

運行事業者：日本海観光バス(株)



(3) 自動運転バス

運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

運行ルート：小松駅→小松空港、小松空港→小松駅

運行事業者：北鉄加賀バス(株)

空港連絡線 自動運転バス＋北鉄		空港連絡線 自動運転バス＋北鉄	
小松駅 → 小松空港		小松空港 → 小松駅	
時	分	時	分
6		6	
7		7	
8	20	8	
9	30	9	5
10	55	10	20
11		11	
12		12	55
13	30	13	
14	45	14	10
15	40	15	
16		16	5
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	
21		21	
22		22	



(4) バス停ネーミングライツ

申込者	バス停名	期間	金額
医療法人社団愛康会	小松ソフィア病院前	H31. 4. 1～R7. 3. 31	100,000 円
医療法人社団荒木病院	あらきクリニック前	H31. 4. 1～R7. 3. 31	100,000 円
CKD 株式会社	CKD 東門前	R6. 10. 1～R11. 9. 30	100,000 円
イオンモール新小松	イオンモール新小松	R4. 3. 22～R9. 3. 21	100,000 円

5. 松東地区乗合タクシー

運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

運行ルート：大杉ルート、尾小屋ルート

運行事業者：小松タクシー(株)



<大杉ルート>

	大杉上町	明神橋	大杉本町	大杉みどりの里	大杉中町	大杉下町	赤旗駅前口	赤旗	黒旗坂	打木	上の江	上の江公民館	甘せせの郷	瀬旗	淡佐町南	淡佐町西	淡佐町公民館	長谷	江指	底のぼの松東
1区間	200円			200円			200円													
2区間	400円						400円													
3区間	500円																			

<尾小屋ルート>

	尾小屋	奥原	鹿心(二層)	上飯	野中田	岩崎	結原	治部	松岡	沢	市橋	出村	不動	金平	金野郵便送部	金野町	坂のぼの松東	江指	
1区間	200円		200円							200円									
2区間	400円									400円									
3区間	500円																		

◆時刻表

『尾小屋ルート』 上り (尾小屋 ⇒ ほのぼの松東・江指)																				〈路線バスとの接続〉				
停留所	便名	尾小屋	長原	ニツ屋	岩上	観音下	波佐羅	塩原	池城	松岡	沢	布橋	出村	不動	金平	金野郵便局前	金野町	ほのぼの松東	江指					
発着時間	尾小屋1	8:10	8:11	8:12	8:15	8:16	8:18	8:20	8:25	8:27	8:29	8:30	8:32	8:33	8:34	8:35	8:36	8:37	8:40	尾小屋線 (ほのぼの松東) 大杉線 (江指)				
	尾小屋2	13:30	13:31	13:32	13:35	13:36	13:38	13:40	13:45	13:47	13:49	13:50	13:52	13:53	13:54	13:55	13:56	13:57	-	尾小屋線 (ほのぼの松東)				
	尾小屋3	14:35	14:36	14:37	14:40	14:41	14:43	14:45	14:50	14:52	14:54	14:55	14:57	14:58	14:59	15:00	15:01	15:02	15:05	大杉線 (江指)				
『尾小屋ルート』 下り (江指・ほのぼの松東 ⇒ 尾小屋)																				〈路線バスとの接続〉				
停留所	便名	江指	ほのぼの松東	金野町	金野郵便局前	金平	不動	出村	布橋	沢	松岡	池城	塩原	波佐羅	観音下	岩上	ニツ屋	長原	尾小屋					
発着時間	尾小屋4	-	14:00	14:01	14:02	14:03	14:04	14:05	14:07	14:08	14:10	14:12	14:17	14:19	14:21	14:22	14:25	14:26	14:27	尾小屋線 (ほのぼの松東)				
	尾小屋5	15:00	15:03	15:04	15:05	15:06	15:07	15:08	15:10	15:11	15:13	15:15	15:20	15:22	15:24	15:25	15:28	15:29	15:30	大杉線 (江指)				
	尾小屋6	17:00	17:03	17:04	17:05	17:06	17:07	17:08	17:10	17:11	17:13	17:15	17:20	17:22	17:24	17:25	17:28	17:29	17:30	大杉線 (江指)				
『大杉ルート』 上り (大杉 ⇒ 江指・ほのぼの松東)																				〈路線バスとの接続〉				
停留所	便名	大杉上町	明神橋	大杉本町	大杉 A・B・Cの郷	大杉中町	大杉下町	赤瀬橋口	赤瀬	荒俣	打木	上り江	上り江公民館	せせらぎの郷	瀬原温泉	瀬原	瀬原郵便局前	伊豆谷町	伊豆谷公民館	波佐谷	長谷	江指	ほのぼの松東	
発着時間	大杉1	8:00	8:02	8:03	8:05	8:07	8:08	8:13	8:14	8:15	8:17	8:18	8:19	8:23	8:25	8:26	8:27	8:29	8:30	8:31	8:32	8:33	8:40	大杉線 (江指) 尾小屋線 (ほのぼの松東)
	大杉2	13:20	13:22	13:23	13:25	13:27	13:28	13:33	13:34	13:35	13:37	13:38	13:39	13:43	13:45	13:46	13:47	13:49	13:50	13:51	13:52	13:53	14:00	尾小屋線 (ほのぼの松東)
	大杉3	14:35	14:37	14:38	14:40	14:42	14:43	14:48	14:49	14:50	14:52	14:53	14:54	14:58	15:00	15:01	15:02	15:04	15:05	15:06	15:07	15:08	-	大杉線 (江指)
『大杉ルート』 下り (ほのぼの松東・江指 ⇒ 大杉上町)																				〈路線バスとの接続〉				
停留所	便名	ほのぼの松東	江指	長谷	波佐谷	伊豆谷公民館	伊豆谷町	瀬原郵便局前	瀬原	瀬原温泉	せせらぎの郷	上り江公民館	上り江	打木	荒俣	赤瀬	赤瀬橋口	大杉下町	大杉中町	大杉 A・B・Cの郷	大杉本町	明神橋	大杉上町	
発着時間	大杉4	14:00	14:05	14:06	14:07	14:08	14:09	14:11	14:12	14:14	14:15	14:17	14:18	14:19	14:21	14:22	14:23	14:28	14:29	14:31	14:33	14:34	14:36	尾小屋線 (ほのぼの松東)
	大杉5	-	15:00	15:01	15:02	15:03	15:04	15:06	15:07	15:09	15:10	15:12	15:13	15:14	15:16	15:17	15:18	15:23	15:24	15:26	15:28	15:29	15:31	大杉線 (江指)
	大杉6	-	17:00	17:01	17:02	17:03	17:04	17:06	17:07	17:09	17:10	17:12	17:13	17:14	17:16	17:17	17:18	17:23	17:24	17:26	17:28	17:29	17:31	大杉線 (江指)

6. 小松市ライドシェア

運行期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

木・金・土曜日（祝祭日を含む）17時～24時

運行エリア：小松市・能美市・加賀市（発着のいずれかが小松市内に限る）

実施主体者：小松市

運営事業者：(株)パブリックテクノロジーズ

運行管理者：小松タクシー(株)



iPhoneでもAndroidでも
ダウンロードはこちら

**クレジットカードによる
お支払いが可能**



小松市ライドシェア

タクシー不足の夜も、ライドシェアで安心帰宅

運賃

初乗り1kmまで **400円**
以降、300mごとに 100円

運行時間

毎週木・金・土曜日
17:00～24:00

支払い方法

 PayPay
 クレジットカード

運行エリア

小松市・能美市・加賀市
※発着地のどちらかが小松市内に限りませ

お電話からの予約はこちら 電話予約受付時間（運行日のみ）

050-3493-0068 16:00～24:00

アプリからの予約方法

電報連絡時は時間を要するか、アプリからの予約をご利用ください。



「パブテック」ホーム画面の「ライドシェア」を選択してください



発着地と目的地を選択してください



乗車人数を選択します



出発時間または到着時間を選択します



予約内容が表示されます

小松市ライドシェアHP

詳しい情報は
こちら



パブテック

事業主体
お問い合わせ先
小松市役所 地域交通政策室
✉ kotsu-s@city.komatsu.lg.jp

小松市ライドシェアは、株式会社パブリックテクノロジーズが提供するアプリ「パブテック」からご利用いただけます。

運営事業者
お問い合わせ先
株式会社パブリックテクノロジーズ
✉ support@pubtech.jp

7. らく賃パスポート

路線バスを多くの皆さんに利用していただくため、65 歳以上の方、障がいのある方、中学生、高校生、大学生を対象に販売している路線バスのフリー乗車券。

※佐野線、空港連絡線のうち自動運転バス、市外区間は利用不可

お得で便利！市内路線バスが乗り放題！

らく賃パスポート 令和7年3月～

市内のお出かけ・通学には便利な「らく賃パスポート」で路線バスをご利用ください。
※佐野線、空港連絡線のうち自動運転バス、市外区間ではご利用いただけません。

乗る時、降りる時にらく賃パスポートのQRコードをQRコードリーダーにタッチして読み込ませてください！
なお、降りる際はパスポートを乗務員に提示してからQRコードを読み込ませてください。

パスポートを購入できる方・料金

区分	購入できる方	料金	購入時に必要なもの
シルバー	小松市に住民登録がある65歳以上の方	1ヶ月：2,000円 2ヶ月：4,000円 3ヶ月：6,000円 4ヶ月：8,000円 5ヶ月：8,800円 6ヶ月：8,800円	健康保険証 個人番号カードなど
障がいのある方	小松市に住民登録があり、下記のいずれかの交付を受けている方 ・身体障害者手帳・療育手帳 ・精神障害者保健福祉手帳 ・運転免許証自主返納支援制度適用証明	左記手帳等のうちいずれかお持ちのもの	
中学生	小松市に住民登録がある中学生もしくは小松市内の中学に通学する中学生	1ヶ月：3,000円 2ヶ月：6,000円 3ヶ月：9,000円 4ヶ月：12,000円 5ヶ月：14,000円 6ヶ月：14,000円 ※冬季特別：8,000円	在学証明書 ※パスポート購入前に通学している中学校から在学証明書を発行してもらってください。
高校生	小松市に住民登録がある高校生もしくは小松市内の高校に通学する高校生	学生証 ※新入生の方 学生証発行前の購入時には学校からの通知書類をお持ちください	
大学生	小松市に住民登録がある大学生もしくは小松市内の大学に通学している学生		

※利用開始日の1ヶ月前より購入できます

※大学生の区分には専修学校、小学校・中学校以外の国公立学校も含まれます

市内対象学校：公立小松大学、小松看護学院、石川県立小松産業技術専門学校

※中学生・高校生・大学生の「冬季特別」は利用期間が12/1～2月末に固定された割引バスポートです

※バスポートの販売場所は裏面をご確認ください

【お問い合わせ先】こまつもしもセンター 0761-20-0404

バスポートの販売場所

※販売場所によって、取扱バスポート区分、販売時間、休業日が異なりますので、事前にご確認ください。

地区	販売場所	販売時間	休業日	取扱いバスポート		
				シルバー障がい	中学生高校生大学生	連絡先
丸内	小松市役所 市民課	9:00～17:00※	土・日・祝	○	○	24-8217
	第一地区コミュニティセンター	9:00～17:00	5/3～5・8/14～16	○		23-2414
戸城	小松駅前行政サービスセンター	10:00～18:45(平日) 9:30～18:15(休日)	水曜日(祝日のとき翌日)	○	○	23-2323
	やわたメディカルセンター	9:00～17:00	日・祝・第2・4・5土 第1・3土午後	○		47-1212
	小松市立高校 【同校生徒のみ対象】	開校しているとき			○	47-2910
安宅	北越加賀バス	8:45～17:30	土午後・日・祝	○	○	22-3721
	あとかほ定こども園	9:00～17:00	土・日・祝	○		21-0287
坂津	小松市民センター	9:00～17:00	月曜日(祝日のとき翌日)	○	○	24-6101
松陽	小松市民病院 総合案内	8:30～17:15	土・日・祝	○	○	22-7111
国府	市立国府公民館	9:00～17:00	日・月・祝	○	○	47-0342
中海	埋蔵文化財センター	9:00～17:00	年末年始	○	○	47-5713
	東部児童センター	10:00～18:00	日・祝(こどもの日・スポーツの日除く)	○	○	47-2667
松東	市立松東公民館	9:00～17:00	日・月・祝	○	○	46-1433
南部	南支所	9:00～17:00※	土・日・祝	○	○	44-2535
	水場こども園	9:00～17:00	土・日・祝	○		43-0098

(注)・年末年始はすべての販売場所が休業となります。

・お住まいの地区に限らず、どの場所でも購入できます。

・町内会や老人会等で一定数の購入希望者が集まるようであれば、出張販売も行っています。

※市民課・南支所は火・金曜日(通年)と、令和7年3月1日から令和7年4月30日までは9:00～18:30となります。

8. 今年度の主な取組について

(1) 小松市地域公共交通プランのアップデート

住民へのアンケート調査や地域住民とのワークショップ、路線バスにセンサーを設置することによる乗降データの取得により、需要、潜在的ニーズ、乗降データを調査・分析等を行い、令和3年度に策定した「こまつ地域交通プラン」をアップデートする。

小松市地域公共交通計画のアップデートに向けて、地域住民とのワークショップ、計画専門部会、協議会を開催する。

(2) 路線バス乗降データの取得

- ・バスの入り口と出口に「乗降データ収集システム」の車載器と連動したカメラ（乗降カウントセンサー）を取り付け、通過した人数をカウントすることによって各停留所での乗降者数を把握する。
- ・取得できるデータとして、各路線、各系統、各時間、各停留所の乗車人数と降車人数であり、現行の路線バスの需要を把握することが可能となる。

- ・今年見直ししている地域公共交通プラン策定に取得した乗降データを活用するほか、バス路線について利用者の需要を把握し、最適なルートやダイヤの構築に活かしていく。

(3) 乗合型公共ライドシェアの実証実験

南部地区（符津、矢田野、栗津、那谷校下）において、道路運送法第78条第2号の自家用有償旅客運送を乗合方式で行う“乗合ライドシェア”により、地域住民や来訪者の移動手段を確保し、交通空白を解消することを目指し、持続可能な交通手段となり得るのか各種検証・評価を目的に実証実験を行う。

（令和7年度 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト）を活用）

(4) 公共ライドシェアの見直し

小松市ライドシェア「i-Chan」は、現在、木曜日、金曜日、土曜日（祝日も運行）の17時から24時まで運行しているが、金沢方面から最終電車（0：22）後まで運行してほしいとの要望が住民からあり、運行時間を深夜2時までに延長を検討。

令和7年度 小松市地域公共交通活性化協議会 歳入歳出予算（案）

【歳入の部】

（単位：円）

項目			予算額	説明
款	項	目	A	
1	補助金		16,199,000	
	1	補助金	16,199,000	
		1 補助金	16,199,000	小松市補助金10,100千円 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金 ・地域公共交通調査事業3,750千円 ・地域内フィーダー系統2,349千円
2	雑入			
	1	雑入	0	
		1 雑入	0	利息
3	繰越金		127	
	1	繰越金	127	
		1 繰越金	127	
計			16,199,127	

【歳出の部】

（単位：円）

項目			予算額	説明
款	項	目	A	
1	事業費		16,098,000	
	1	事業費	16,098,000	
		1 事業費	16,098,000	事業実施主体（小松市）への支出6,099千円 ・地域公共交通調査事業3,750千円 ・地域内フィーダー系統2,349千円 小松市地域公共交通計画策定調査業務9,999千円
2	予備費		101,127	
	1	予備費	101,127	
		1 予備費	101,127	
計			16,199,127	

小松市地域公共交通計画のアップデートについて

1. 現行計画について

現在の小松市地域公共交通計画「こまつ地域交通プラン」は、市内の地域交通の現状や課題を把握し、地域特性やニーズに応じたみんなで支え合う持続可能な地域交通を目指すため、地域の関係者の連携・協働のもと、令和３年４月に策定しました。計画期間は令和３年度から令和７年度までとなります。

(1) 現在のこまつ交通プランの基本方針と実施状況・評価

基本方針

【方針１】小松空港と鉄道を軸とした基幹的な地域交通網の形成

【方針２】路線バスおよびコミュニティバスの持続可能なネットワークの形成

【方針３】新技術、新サービスを取り込んだニューモビリティの活用



課題区分	課題	対応する基本方針
運行路線	本数の検討が必要、空港連絡線と安宅線の効率化、路線の効率化、利用率の多いバス路線の確保、小松駅・栗津駅・高校・医療機関へのアクセス、必要十分な本数	方針１ 方針２
交通機関連携	路線バスとコミュニティバスの役割分担、地域資源（車両）の総動員・活用	方針２
支払方法など	ネット購入・モバイル定期券導入、交通機関毎の支払い方法の調整	方針３
都市計画対応	宅地造成や商業開発を見据えた新たな路線・再編の検討、定時制・高速性などの信頼性向上、ICカード利用者への対応、観光ニーズやワーケーションへの対応、周辺自治体との連携、都市部の充実	方針１ 方針２
コロナ対応	車内の混雑情報の見える化、ピーク時・天候・イベント時等利用に合わせた増便の検討、買い物代行や移動式車両店舗、オンライン診療等の検討	方針３

《実施状況・評価》

【方針１】小松空港と鉄道を軸とした基幹的な地域交通網の形成

施策	事業	評価	
北陸新幹線小松駅と小松空港との結節強化	北陸新幹線小松駅と小松空港との結節強化 空港連絡線や安宅線の路線の効率化	△	自動運転は導入したが、空港線、安宅線の効率化までは至っていない
	自動運転の導入	△	自動運転は導入したが、結節強化までには至っていない
	空港アクセスにおけるキャッシュレス化	○	キャッシュレスを導入し利用者の利便性が向上した
	小松駅やこまつの杜、小松空港駐車場内の短距離交通システムの導入（グリスロ）	×	需要が十分でなく、費用対効果も含め検討の上非実施
小松空港周辺まちづくりの活性化	新産業団地へのバス交通延伸やパーク＆ライドの導入	×	新産業団地への企業立地が進み、需要が把握できた時点で検討
	観光周遊コースの創出	×	コロナ禍の影響もあり未実施

【方針２】路線バスおよびコミュニティバスの持続可能なネットワークの形成

施策	事業	評価	
まちの拠点を結ぶ 地域交通の充実	路線バスの郊外部低未利用区間の短縮	△	尾小屋線、大杉線では実施できたが、他の路線バスではできなかった
	路線バスの都市部（居住誘導区域）での充実	×	都市部での路線バスの充実はできていない
コミュニティバスの利便性向上	循環線のルートや運行内容の見直し	○	市内循環線：利用者の要望に応じてルートの変更を実施
路線バスの運行効率化	都市部を中心に、路線バスの運行サービス（ダイヤ・間隔等）の見直し	×	未実施
リソースの総動員	タクシー事業者の活用（デマンドタクシー）	○	中山間地域でデマンドタクシーを導入
	福祉施設事業者の車両や人員の活用（地域協議会による乗合ワゴン、地域有償運行事業）	○	日末・月津地区において自家用有償旅客運送を導入。地域高齢者の買い物、通院支援
	大学などスクールバスの活用	×	コロナ禍の影響もあり未実施
	中山間地におけるグリーンスローモビリティ（自動運転）の導入	×	費用対効果の観点から非実施
	レンタカー、カーシェアの活用	△	公共ライドシェアでのカーシェアの活用を検討
周辺自治体との連携強化	JAIST Shuttle（大学－小松駅間）のバス停追加の協議	×	コロナ禍の影響もあり非実施

【方針３】新技術、新サービスを取り込んだニューモビリティの活用

施策	事業	評価	
キャッシュレスの推進	らく賃パスポートのモバイル化検討	△	モバイル化と紙パスポートの併用を検討中
MaaSの推進	ICOCA やらく賃パスポート、ICa など決済方法の集約	△	北鉄加賀バス路線バスへの ICa、VISA タッチの導入や、コミバスへの ICOCA 導入を実施したが集約には至っていない
バス車内での三密対策	車内混雑状況の見える化	△	バスロケーションシステムの導入とともに検討中
	通勤通学時や降雨降雪時、イベント時の増便検討	○	通学時の増便を実施
ステイホーム対応	買い物代行や移動式車両店舗、オンライン診療などの検討	×	未実施

(2) 現行計画からのアップデート

基本理念

北陸新幹線小松駅開業を機に、
みんなで支え合う地域交通(もっと便利に)の実現

公共交通が 目指すべき 役割 (目標?)

役割① 地域住民の移動手段の確保
役割② まちづくりと連携した地域交通網の構築
役割③ 効率的かつ持続可能な交通手段の転換
役割④ 地域とともに支える地域交通の推進

問題点・課題

※データを十分に活用しない感覚的な分析
※策定時点の状況（コロナ禍）の影響が強い分析
※施策・事業ありきの分析

目標値

目標値 1 : 地域交通利用者数
目標値 2 : バスの収支
目標値 3 : 行政負担額

施策の方針

方針 1 : 小松空港と鉄道を軸とした基幹的な地域交通網の形成
方針 2 : 路線バスおよびコミュニティバスの持続可能なネットワークの形成
方針 3 : 新技術、新サービスを取り込んだニューモビリティの活用

現行計画のアップデートのポイント

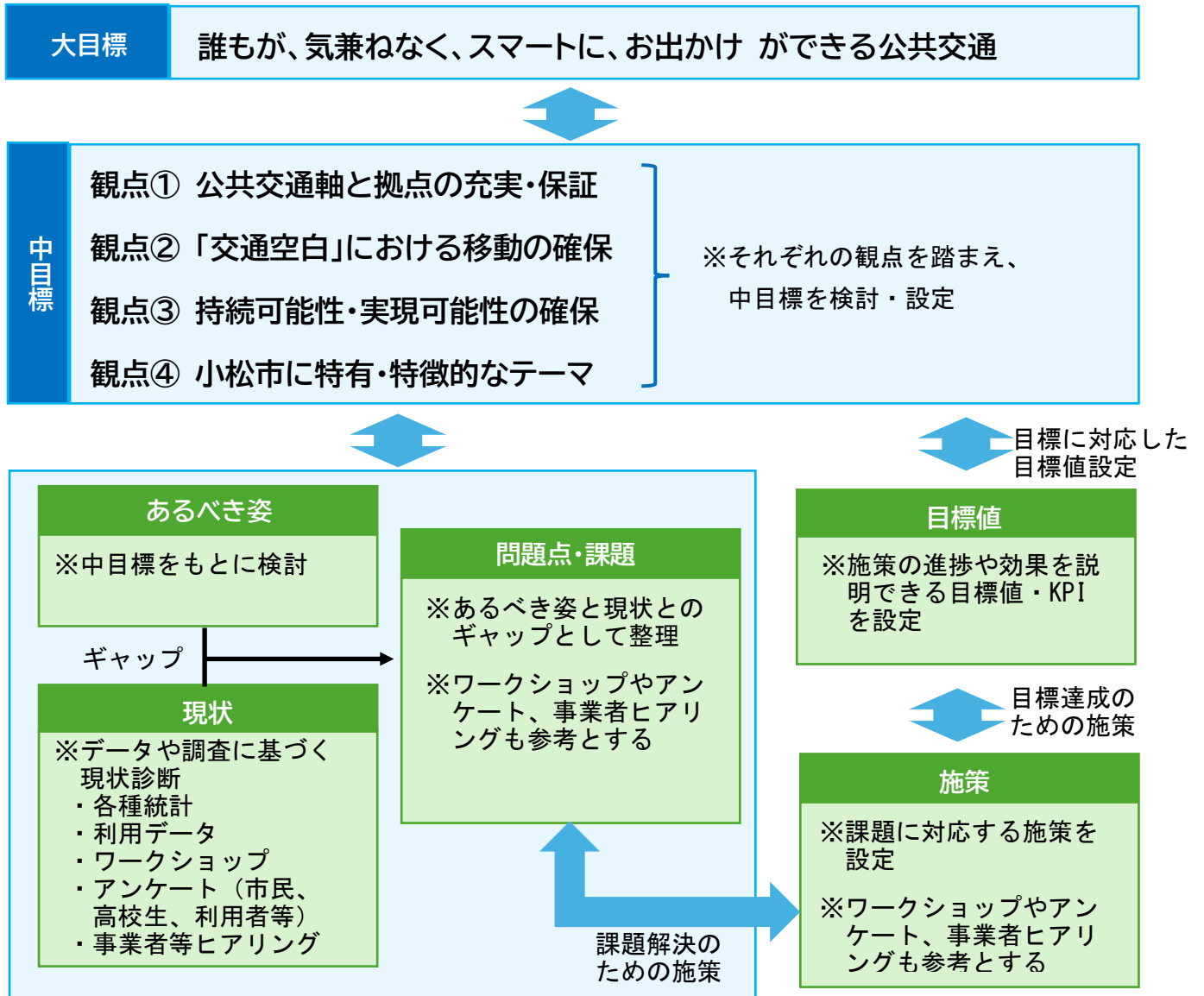
現状分析～施策・事業立案について、**目標志向型の計画**とする。

- ① 目指す姿 = 目標の設定
- ② データを活用した現状診断
- ③ ① 目標と② 現状診断のギャップから課題を抽出
- ④ 目標値 (KPI) は① 目標と連動させる
- ⑤ 施策は、③ 課題の解決や④ 目標値 (KPI) の達成につながるものとする

2. 次期地域公共交通計画の目指す姿と各項目の設定（案）

次期地域公共交通計画の策定にあたり、次のとおり目指す姿（大目標・基本方針）を掲げます。また、中目標については、国土交通省が示す地域公共交通計画の「アップデートガイダンス」に基づく3つの観点に加え、本市に特有・特徴的なテーマを基に設定していきます。

施策や目標値の設定にあたっては、目指す姿・中目標を踏まえたあるべき姿と現状診断とのギャップを分析し、問題点や課題を明確化します。目標志向型とすることで、今後環境が変化した場合においても目指す方向性を失わない実効性のある計画として策定を進めます。



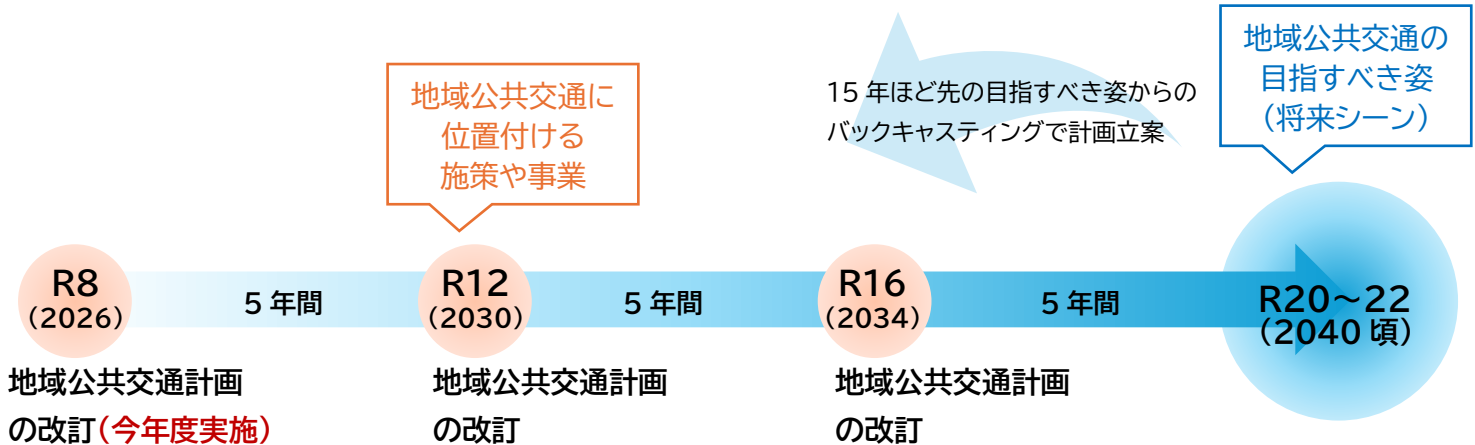
3. 計画期間について（案）

現行計画（小松地域交通プラン）では、計画期間を5年間で設定しています。

また、国土交通省が公表している「地域公共交通のリ・デザイン（地域公共交通計画等の作成と運用の手引き 第4版（令和5年10月））」には計画期間等について、以下の通り位置づけがされています。

- 地域公共交通のリ・デザイン(地域公共交通計画等の作成と運用の手引き p.17)
 - ✓ 原則 5 年程度(ただし、計画目標や地域の実情等を踏まえ、柔軟な設定も可能)
 - ✓ 中長期的に地域が目指すべき将来像も念頭におきつつ作成することが適当

上記を踏まえ、次期 地域公共交通計画の計画期間のイメージは以下の通り 5 年間とします。



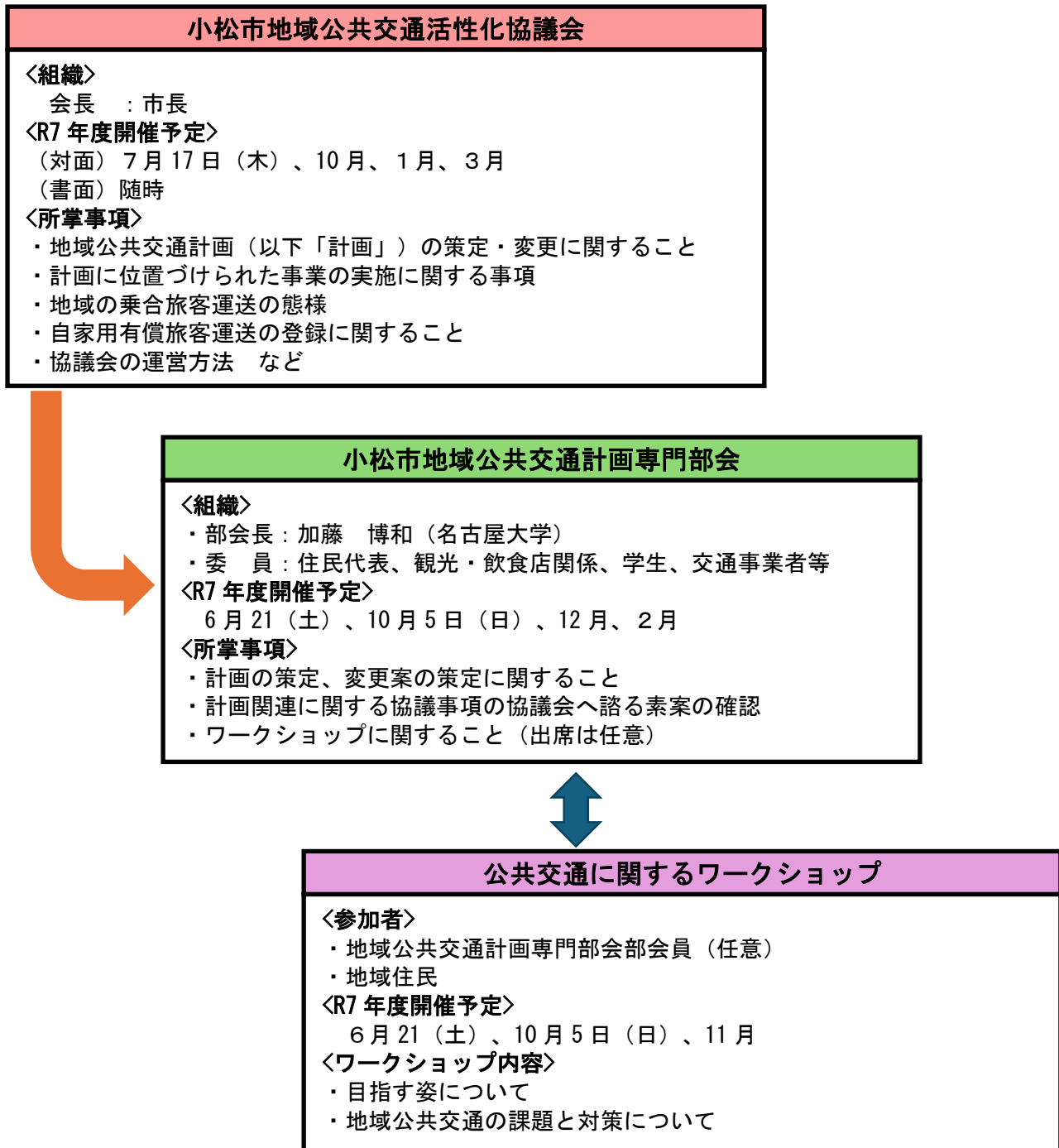
【参考】上位関連計画における計画期間

公共交通計画の上位関連計画における計画期間は以下のとおりです。長期ビジョン（2040 ビジョン、都市デザインなど）として 20 年間、実行的な計画（立地適正化計画）として 10 年間で期間設定をしています。

計画名	策定年	目標年次(概ねの計画期間)
小松市 2040 ビジョン	R5	～R22 年度(約 20 年間)
小松市都市デザイン	H27 (R2、R6 改訂)	～R22 年度(約 20 年間)
小松市都市計画マスタープラン	H31	～R22 年度(約 20 年間)
小松市立地適正化計画	H31	～R12 年度(約 10 年間)

4. 次期地域公共交通計画策定に向けた推進体制及び会議等開催スケジュール（案）

(1) 推進体制



(2) 会議等開催スケジュール

時期	テーマ・目的	ワーク ショップ	専門部会	協議会
6月21日	次期計画の目指す姿の共通認識 【第一回ワークショップ・第一回専門部会】	●	●	
7月17日	次期計画の目指す姿の共通認識 【第一回協議会】		(●)	●
10月5日	課題説明・合意と解決に向けたアイデア出し 【第二回ワークショップ】	●	(●)	
10月5日	現状分析の確認 施策・KPI（案）の確認 【第二回専門部会】		●	
10月	現状分析の報告・承認 施策・KPI（案）の承認 【第二回協議会】		(●)	●
11月	施策・KPIの合意と、KPI達成のための 事業アイデア出し【第三回ワークショップ】	●	(●)	
12月	計画の確認 【第三回専門部会】		●	
1月	計画の承認 【第三回協議会】		(●)	●
2月	計画の最終確認 【第四回専門部会】		●	
3月	計画の最終承認 【第四回協議会】		(●)	●

●：開催

(●)：適宜参加

5. 工程表

令和7年度	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
事業のステップ	現状・課題の把握 (現計画評価、意識調査等) 地域交通が 目指す方向性 検討 計画原案のとり まとめ 計画のとりまとめ																													
(1) 関連計画の整理																														
地域特性・人口等 の現状診断																														
(2) 市民アンケート 高校生アンケート	調査設計 配布・回収 入力・集計 配布・回収 入力・集計																													
交通事業者ヒア リング、関係団体・ 事業者ヒアリング																														
(3) 地域交通が目指す 姿、施策の設定	素案検討→修正																													
(4) KPI・目標値の 設定																														
(5) 事業スケジュール、 評価の検討																														
(6) 地域住民 ワークショップ等 開催支援	企画WS① 企画 WS②企画 WS③																													
(7) 小松市地域公共交 通活性化協議会及 び部会の運営支援	協議会① 部会① 協議会② 部会② 協議会③ 部会③ 協議会④ 部会④																													
(8) 計画書及び 概要版のとりまとめ	素案作成 最終校正 とりまとめ ※パブリックコメント1か月程度想定																													

6. 公共交通に関するワークショップ

(1) 全体概要

趣旨	新計画の策定にあたり、地域住民目線の課題や、よりよい交通の形成に向けた提案を踏まえるとともに、地域と交通の距離を縮め、利用される公共交通の形成を目指す
日程	6月21日（土）、10月5日（日）、11月（全3回）
各回目的	第1回：小松市の公共交通の今を知る・考える 第2回：公共交通の未来の姿を考える 第3回：新計画で未来の交通の姿を実現させていくために

(2) 第1回ワークショップ

ねらい	小松市の地域公共交通の今を知る・考える 交通の今について学び、課題と望ましい交通の姿をみんなで考える
日程	6月21日（土） 14:00～16:00
参加者	・地域住民（各小学校区より2名参加を要請） ・地域公共交通計画専門部会部会員 計55名 ※地域ごとグループ分けし、地域別の特徴が把握できるよう配慮
内容	・小松市の公共交通についての説明 ・加藤教授レクチャー 「公共交通の大切さと、地域自ら創り守り育て生かす必要性」 ・各グループでの議論・意見交換 ・加藤教授レクチャーからの気づき ・小松市の公共交通の問題点 ・小松市の公共交通の望ましい姿

【会場に出された意見】

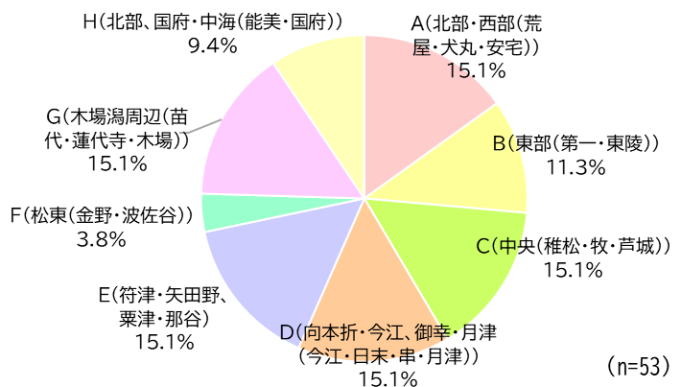
別紙参照

【会場の様子】

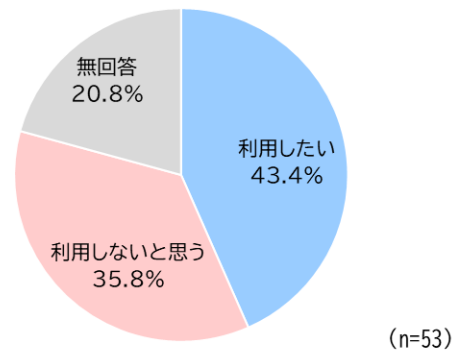


【参加者アンケート結果概要】

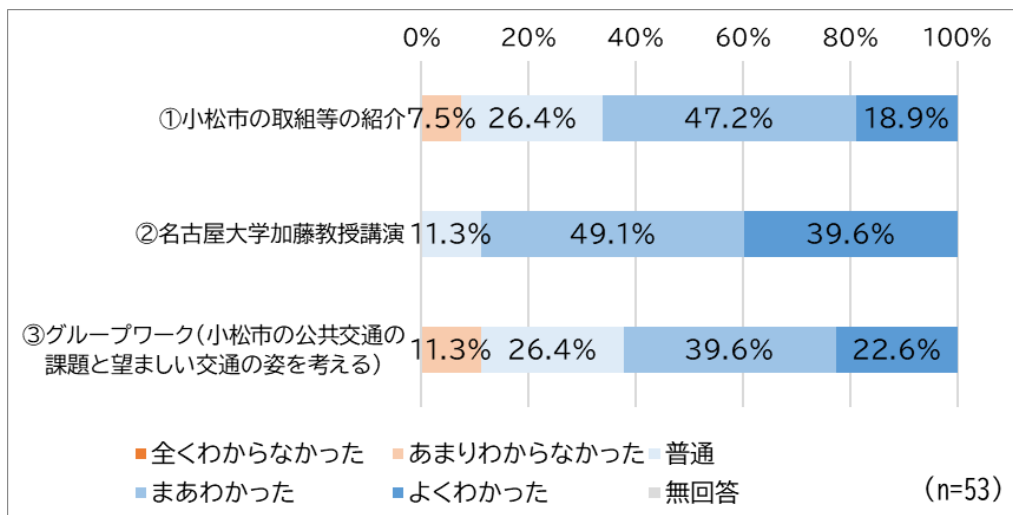
●アンケート回答者



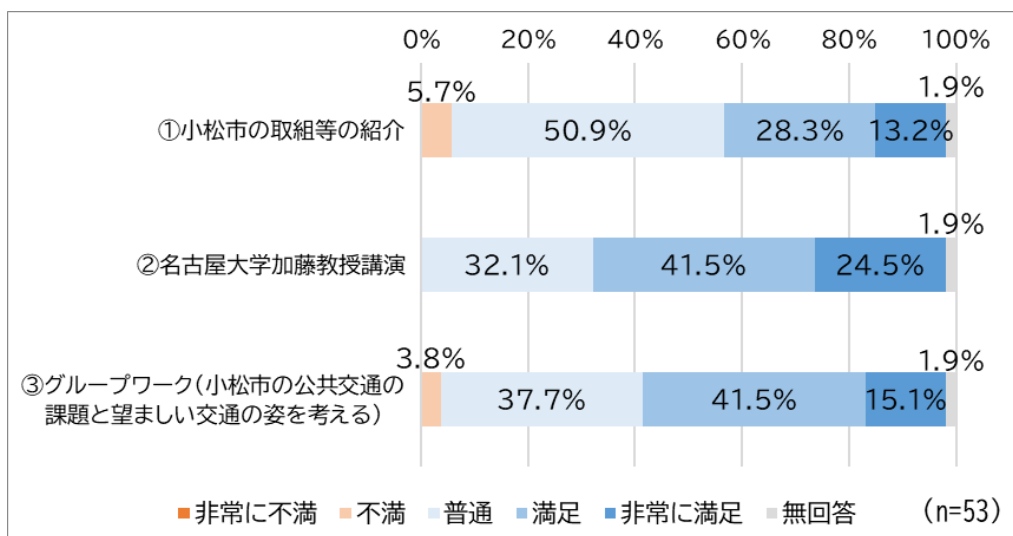
●今後、公共交通を利用したいと思いませんか？



●本日のワークショップの内容について理解度をお答えください。



●本日のワークショップの内容について満足度をお答えください。



場所	件数
安宅海岸	2
安宅港	1
安宅新の海	1
安宅住吉神社	1
安宅の海浜公園カフェの雰囲気がいい	1
安宅の関	1
木場潟	6
木場潟公園西園地	1
木場潟公園東園地(ソフトクリーム)	1
木場潟公園東園地の足場	1
草野海岸	1
くら掛山	1
荒俣峡	1
大川町梯川	1
末広緑地公園	1
緑地公園	1
沢町, 十二カ滝(春の桜、秋の紅葉がキレイ!)	1
神社の参道	1
那谷寺	1
尾小屋	1
小松駅・小松駅前	2
サイエンスヒルズ	1
小松空港	1
小松市立図書館(未来型図書館)	1
図書館	1
矢田野小学校	1

場所	件数
イオンモール新小松	5
イオン小松店	2
映画館イオン	1
粟津温泉	1
今江温泉総湯	1
西園寺(おフロ!)	1
ピュア桶泉寺	1
せせらぎの里風呂が最高!!	1
亀寿司(山代)	1
滝ヶ原カフェ	1
カフェ(名称?)	1
竹こう居(中華ガッツリ!!)	1
つづら千木野町	1
スナックえり子	1
カーマ	1
マルエースーパー	2
セリア城南店	1
ゴルフ練習場(八幡)	1
やわたメディカルセンター	1
月津から見る白山(自分の家の二階から見える白山がきれい)	1
家の横の山	1
自宅	1
はたけ	1

加藤先生のレクチャーからの気づき、感じたこと

自分も実際に乗ってみようと思った

駅前に行くときにバスを一回使ってみる
実際に乗ってみる！
実際に乗ってみる。
有言実行、乗ってわかる
先生のお話でバスに乗ってみたい！！と思い実行します。
実際に乗ってから考える
バスの文句はまずバスに乗ってから
乗ってみることが大事
なるべく使えるようにする
のれるようになるべく時間に使うようにする

クルマ依存に気づいた

車で自由にいけて問題意識が薄かった
自分がいかにクルマ依存になっているかに気づいた
実際に車のみんな運転ができなくなるので、明日は我が身のこととして公共交通を考えねばならない。

元気なうち・今から乗るべきと感じた

運転できるうちにバスに乗ろう
元気なうちに公共交通の利用はあまり考えていなかった
元気な時から（今から）利用しなければならない
車に乗れなくなったらバスに乗る!!は違うのだとわかりました。
車に乗れなくなったらバスに乗ろうと思ったらその時にはバスに乗れない
車に乗れなくなってからでは公共手段は使えない
体力がないとバスには乗れない

健康や身体の問題に気づいた

田舎ほど不健康。歩かないのはわかっていたがグラフで見えてみるとショックだった
都会の人はよく歩く、足腰が強い

乗る乗る詐欺への共感や反省

小松のバスはほとんど「乗る乗る」サギなのではないか？
乗る乗る詐欺は確かにあると思った
のるのる詐欺
乗る乗る詐欺、他に目的もあるといい
乗る乗るサギにならないように注意
乗る乗るサギにならない。自分が使いたい交通手段にする
意見はまず乗ってから

利用して意見を言うことが大事だと感じた

公共交通を充実させるには使うことが大切
行政だけではなく利用者の積極的に取り組むことが大切
公共交通を考えるきっかけになった（将来に向けて）
公共交通機関に実際に乗って理解を深めるべき
公共交通機関に乗ることが自動車を運転することよりも良い魅力を知らなければならない
利用している人の意見が大事

社会全体や他者の視点をもった

交通手段がない為に免許返納ができず、高齢者の事故も増加し負のスパイラルになっているのでは？
自分事だけではなく生活弱者の視点をもつ
自分が手段がない前提で考える
それぞれの立場を自分事として考えていくことが大事
我がことととらえてもらうためにはどのようなアプローチをすればよいのか
市民全体が問題意識を持つ
脆弱な立場の順番と考えかた
ひとと金を効率的に使うことが必要
女性の意見の少ない少ない町かも
学生が一番困っているかも

地域・制度づくりの重要性を感じた

地域の特性の交通機関の在り方を創造すること！
地域は地域で進める。
公共交通は地域が作る
独自で公共交通を作る
使えるシステムを作る

公共交通の課題に気づいた

公共交通は簡単にはいかない
公共交通利用は体力と忍耐が必要
バスの利用って難しい。
路線バスには限界があると感じた
路線バスの乗り方がわからない
利用しなくても歩いてバスに乗れるところまで遠すぎる
高齢者と公共交通はつながりにくいと感じた。

交通の持続可能性に注目した

持続可能であること
自治体が協力しないと公共交通持続しないこと
市、住民、交通事業者が一つになって同じ場所で意見を出し合うことが肝心
現時点もさながら将来像を見通すことも大切
現状を把握しながら今後の対策、実現できる対策。夢ではダメ。実際に自分で利用しての利便性を感じる。

その他

SDGsに係ることがわかった
電車とバスの乗り入れ
電車と駐車場（※能美根上駅）
都会と小松は違う
財源は？
おっしゃる通りです
自分には興味がない話
加藤先生が乗っていない。路線はどこ
市民病院のバスを増やせは多分ウソ
妻を東京で連れまわす
そのとおりだと感じた。3割では足りないのでは
使いやすい価格である
検索予約配車決済統合されたアプリあるとは思っていたが使ったことがない

運行本数が少ない

B東部

F松東

G木場潟周辺

H北部、国府・中海

C中央

のりたいたときにすぐ乗れる本数が豊かになること

運行本数が少ないので、行きたい時間に使用できない

D向本折・今江、御幸・月津

朝夕一便しかない

生活での利用不便（高齢者）（本数）

もっとも使う可能性がある空港、駅便が少ない

通院時運行本数行きと帰り

本数が少ないので時間がかかりすぎる

所要時間が長い

乗り換えが時間ロスがある

B東部

あちこち経由するから時間かかる

A北部・西部

乗り換え

目的場所に直接いけない

C中央

小松市、東部方面にある高校の生徒が駅によらないで行けたらよいのでは

運行時間が合わない

F松東

通勤通学時間に合わない

F松東

行っても帰れない

最終便が早い

目的地に希望の時間に着けない

A北部・西部

B東部

運行時間が自分の仕事に合わない仕事帰宅のバスが無い

支払・料金について

一律100円にする10円でも可→利用が増える→予算が増えて便数が増える

タクシーと比べて安すぎる

ICカードの利用不可

C中央

パスポートなどの種類

バス停が遠い

バス停までの距離歩くで一時間？

歩く範囲にバス路線がない

D向本折・今江、御幸・月津

E符津・矢田野、栗津・那谷

バス停までの距離が遠い高齢の家族が心配

バス停までの距離、自分が高台の上にあるのでたいへん

高校生

親の送迎が主流になっている

雨の日に乗車する人が多く乗れないことがある（学生）

G木場潟周辺

バス停について

バス停が少ない

バス停が天候で乗りにくい特に雪が降った時

高齢者

F松東

年配の人が乗り降りしやすいワゴン車などの車両がよいと思う

G木場潟周辺

高齢者・病気の方の行きたい所に路線がない

車両について

利用者が少ないのに大型バスが走っている

車、バスが使えない方の手段がない

F松東

乗る人が少ない

C中央

そもそもみんな移動できる

現状では問題ない

利用したい人がわからない

短距離だと歩いてしまう。

E符津・矢田野、栗津・那谷

問題ない

行き先について

B東部

目的地（どこに何をしに）面白いところが少ないレジャー等

行きたい場所へのアクセスがない、時間が合わない

栗津駅で済むことが小松駅に行かねばならない

路線について

旧8号線にHPや商店が増えたがバス路線はない

山間部の方に運行がない

バス路線が70年前と同じ行きたいところが以前と違う

G木場潟周辺

わかりにくさについて

G木場潟周辺

支払方法が不明

バス停の位置がわからない

バス路線そのものを知らない（住民）のではないのか？→市の宣伝

時刻表がわかりづらい（高齢者にとって）

C中央

バスの乗り方をみんな知っているのか？

バスの路線がわからない

E符津・矢田野、栗津・那谷

どんな公共交通だったら使いたい／使いやすいですか？

(＝望ましい姿はどんなものですか？)

増便について

G木場潟周辺

乗る人の時間帯を把握しその部分の本数を増やす。

町内にバスがあふれるとわざわざ自分の車に乗らなくてもよいと思うので本数を増やしてほしい

朝、夕方、部活終わりの本数の充実

車両の小型化

乗っている人が少ないのであれば大型バスでなくてもよいのでは？数人乗りのバスならコストカットや本数増やし、ドライバー増にならないか

運行本数を小型化で実現

C中央

車両環境

電源付き

喫煙者専用バス

H北部、国府・中海

E符津・矢田野、栗津・那谷

D向本折・今江、御幸・月津

支払について

交通系ICカードが使えるといい

小銭省く100円単位orICカード

団体で乗るときは割引をする

学校、企業などバス利用メリット（料金、CO₂排出量削減）

A北部・西部

わかりにくさの解消

チケットじゃなくてもワンコインでのれる

個人で利用可能な新システム（免許不要EVバイク!?）への補助金、専用@準備。使いやすい料金設定など

バスの接近表示、バス停の時刻表アプリ

乗り換えが案内されるアプリ

目的地に行くすべを分かりやすくする

利用しやすいアプリの活用

電車の時刻表は各家庭にあるがバスの路線図や時刻表はない

情報の発信（乗り換えなど）利用者増加

G木場潟周辺

乗務員確保

乗務員の報酬↑助成も含め

自動運転

福井、永平寺町、自動バス運行！地域限定！

運行コストを考えると自動運転が実用化されるまで待つ。自動運転が実用化されるまでに何が必要か準備しておく

ライドシェア

ライドシェア拡大

各所単位でライドシェアの人を置く（身近な人の運転、信頼できる人）

路線数が少ないところは町でカーシェアをする

H北部、国府・中海

デマンド交通

デマンドタクシーを増やす

A北部・西部

観光客に向けたガイドサービス

拠点の整備

人が集まる場所を中継することで待ち時間を楽しめる「ハブ」

栗津駅の充実両方向から乗れるように

D向本折・今江、御幸・月津

明峰駅に@整備（能美根上駅みたいに広く、安く…）

駅周辺の開発、駐車場の設置

A北部・西部

H北部、国府・中海

B東部

車の駐車場有料にする、車へる→CO₂へる、乗車増える

乗り換え

どこの場所からも乗り継ぎせず、駅、市民病院に行ける等

所要時間短縮

バス停の廃止

周回効率を上げる

B東部

観光客

待合環境整備

B東部

バス停を減らして快適なたまり場に！

空調有カフェ付き、カフェと連携

交通弱者

交通弱者にやさしい料金ダイヤ

行き先・路線について

G木場潟周辺

乗車する人に合わせた路線に変える（学生、HP、買い物など）

空港と駅！に！

B東部

行きたいときに行きたい場所に行けたらよい

観光・グルメめぐり周囲バス

バスの運行ルートの変更、環状線のように円状に

駅、買い物、病院動線での路線

B東部

乗り場を増やす

フリー乗降区間を拡大して利用しやすくする

バス停まで2～3分で行けるように

E符津・矢田野、栗津・那谷

アプリなどを利用して自宅前にバスが停止する

バスステーションをいくつも設定！山からの地域

意識醸成

C中央

運行状況を関係する町内に配る。なくなってしまうかも知れないという意識を持たせる

積極的にみんなで声かけしてバスに乗れるように決める何かを作る

鉄道・バス

の接続

D向本折・今江、御幸・月津

バスと鉄道を上手くリンクさせる、時刻を協調させる

夜間ダイヤ

夜間の各エリア～駅か駅～各エリアの夜間の運行

週末だけでも夜遅く使用できるバス（飲み会後の人）

C中央

D向本折・今江、御幸・月津

他市町との連携

能美市との連帯

南部地区乗合ライドシェアの実証実験について

1 目的

小松市の南部4校区（符津、矢田野、栗津、那谷）は、IR 栗津駅を中心に医療機関や商業施設等生活に必要な施設が集積している一方、矢田野地区等においては交通空白地帯となっており、さらに、令和7年3月の路線バス栗津線のダイヤ改正により大幅な減便が生じるなど、エリアのみならず時間帯の観点からの交通空白の拡大が見られている。

本事業は、上記の課題を踏まえ、南部地区住民（符津、矢田野、栗津、那谷校区）及び観光やビジネスで南部地区を訪れる来訪者を対象に、道路運送法第78条第2号の自家用有償旅客運送を乗合方式で行う（以下「乗合ライドシェア」と言う。）ことにより、地域住民や来訪者の移動手段を確保し、交通空白を解消することを目指すものであり、実装に向けた各種検証・評価を目的に乗合ライドシェアの実証を行うものである。

2 運行概要

（1）実施主体

小松市

（2）運行主体

事業者へ委託予定（プロポーザル方式による公募。7月下旬に事業者決定予定）

（3）運行管理

交通事業者等に委託予定（運行主体より再委託）

（4）運行区域

小松市南部地区（符津、矢田野、栗津、那谷校下）

（5）運行期間

令和7年10月から令和8年1月までの期間のうち連続した3ヶ月間

（6）運行日・時間帯

ア 運行日 月曜日から金曜日までの平日

イ 時間帯 8時から17時

（7）運行形態・乗降方式

ア 道路運送法第78条第2号に定める自家用有償旅客運送による運行とする。

- イ 異なる出発地及び目的地間を移動する複数の利用者の乗合による運行とする。
(一般乗合旅客自動車運送事業と同様)
- ウ 区域内におけるドアツードア型での運行とする。

(8) 運行台数

同時に稼働する台数は4台以上を基本とする。ただし、需要に応じて柔軟に対応

(9) 決済方法

現金による決済は不可とし、下記の決済方法に対応予定。

- ア アプリ内決済
- イ 車内でのQRコード決済
- ウ チケット（事前販売）

(10) 運賃

他の公共交通の料金とのバランスを考慮したうえで決定。

※路線バスよりは高く、タクシーより安い運賃を想定

(11) 予約方法

- ア アプリ及び電話による予約制とする。
- イ 受付は乗車希望時間の2営業日前から30分前まで可能とすること。ただし、このパラメーターは柔軟に変更する。

(12) 配車システム

効率的な運行ルートを作成、運行をサポートする目的で、「配車システム」、「ユーザーアプリ」、「ドライバーツール」、「オペレーターツール」の機能を備えたクラウド型システムを想定。

※プロポーザル方式による公募。7月下旬に事業者決定予定